

こどもの権利に関するアンケート調査 報告書（案）

令和8年1月

和光市子どもあんしん部

1. 調査概要

(1) 調査の趣旨

「(仮称)和光市こどもの権利条例」の令和9年度制定、10年度施行に向けて、こどもたちの「こどもの権利」に関する意識の把握や、その周知・理解の促進を目的として調査を実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

- ア. 市内に在住する小学生
- イ. 市内に在住する中学生
- ウ. 市内に在住・在学する高校生相当の児童

②調査方法

WEB アンケート方式により実施。

- ・市内小中学校については学校に調査協力を依頼し、学校配布タブレットによる調査を実施
- ・市内高校のうち、和光国際高校については、学校に市職員を派遣し、全校集会の場において調査趣旨の説明をするとともに、同日にタブレットによる調査を実施した。もう一校の和光高校については、最終学年の学生しかいないとのことあったため、学校においてアンケート周知をいただくよう調査協力を依頼した。
- ・その他私立小中学校在校生や市外高校在校生は広報誌や市SNS等によりアンケート調査回答を依頼した。

(3) 調査期間

令和7年12月10日～令和8年1月13日（令和8年1月16日まで延長）

(4) 回収数

①小学校低学年（1年～3年）	…1,782件 /2,130人（83.7%）
②小学校高学年（4年～6年）	…1,763件 /2,223人（79.3%）
②中学生	…1,423件 /2,152人（66.1%）
③高校生相当	…879件
計	…5,846件

※小学校低学年から中学生の人数については、令和8年1月1日時点における各年齢別の人口を基準としている。

※高校生相当調査については、回答者に市内高校に在籍する市外在住児童も含まれることから、回収数のみを記載している。

(5)調査種別

学年別の学習進行度等を考慮して、下記4種調査用紙を作成した。なお、いずれの調査用紙においても質問の趣旨は同一であり、学習度合いに合わせて表現等を修正したものとしている。

- ①小学校低学年（小学校1年生～3年生）
- ②小学校高学年（小学校4年生～6年生）
- ③中学生（中学校1年生～3年生）
- ④高校生相当（高校1年生相当～3年生相当）

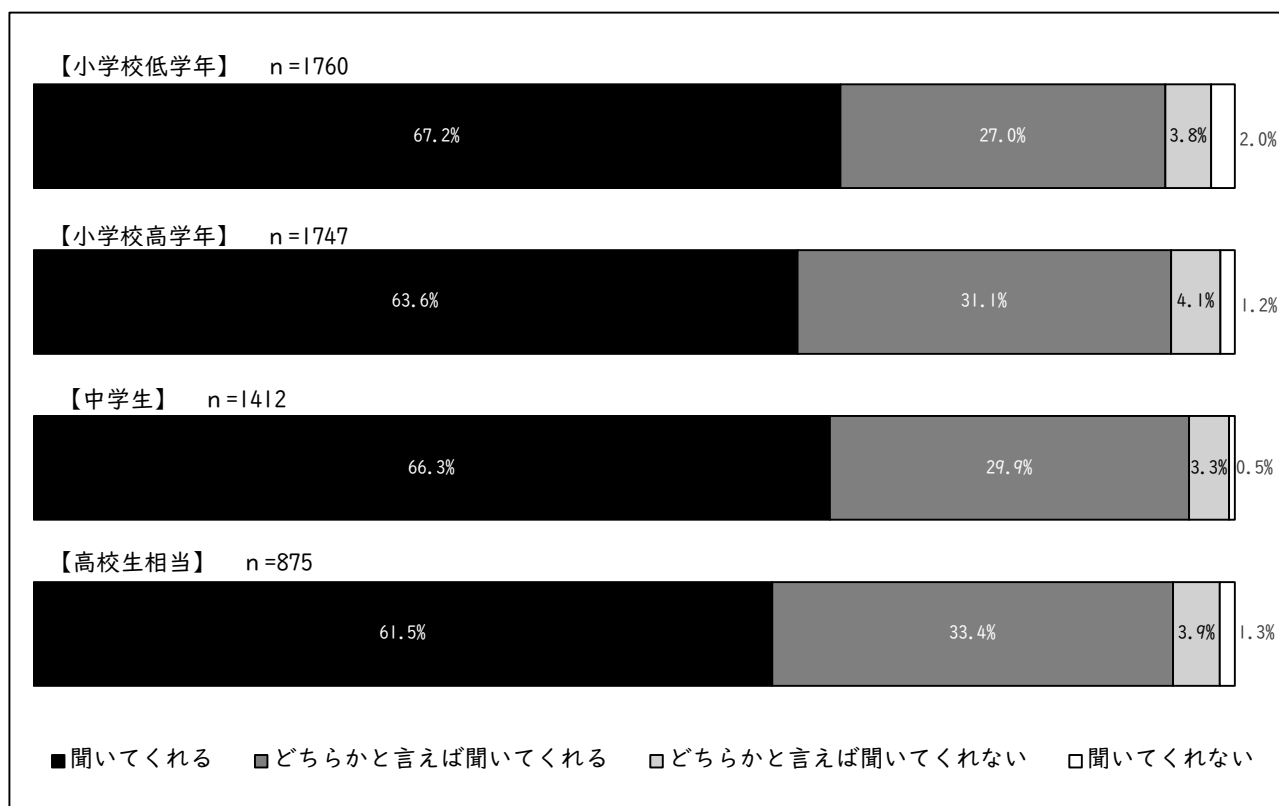
(6)報告書に係る留意事項

回答は各質問の回答者数（n）を基準とし、小数点以下第2位を四捨五入した百分率（%）で示している。よって内訳の合計が100%にならない場合がある。また、当該設問に対して無回答の回答者もいることから、各設問における回答者数はアンケートの回収数及び他の設問ごとの回答者数とは一致しない。

設問及び図中の選択肢表記は高校生相当調査の文言を基準としており、またその一部を短縮、簡略化している場合がある。

2. 調査結果①（各調査別単純集計）

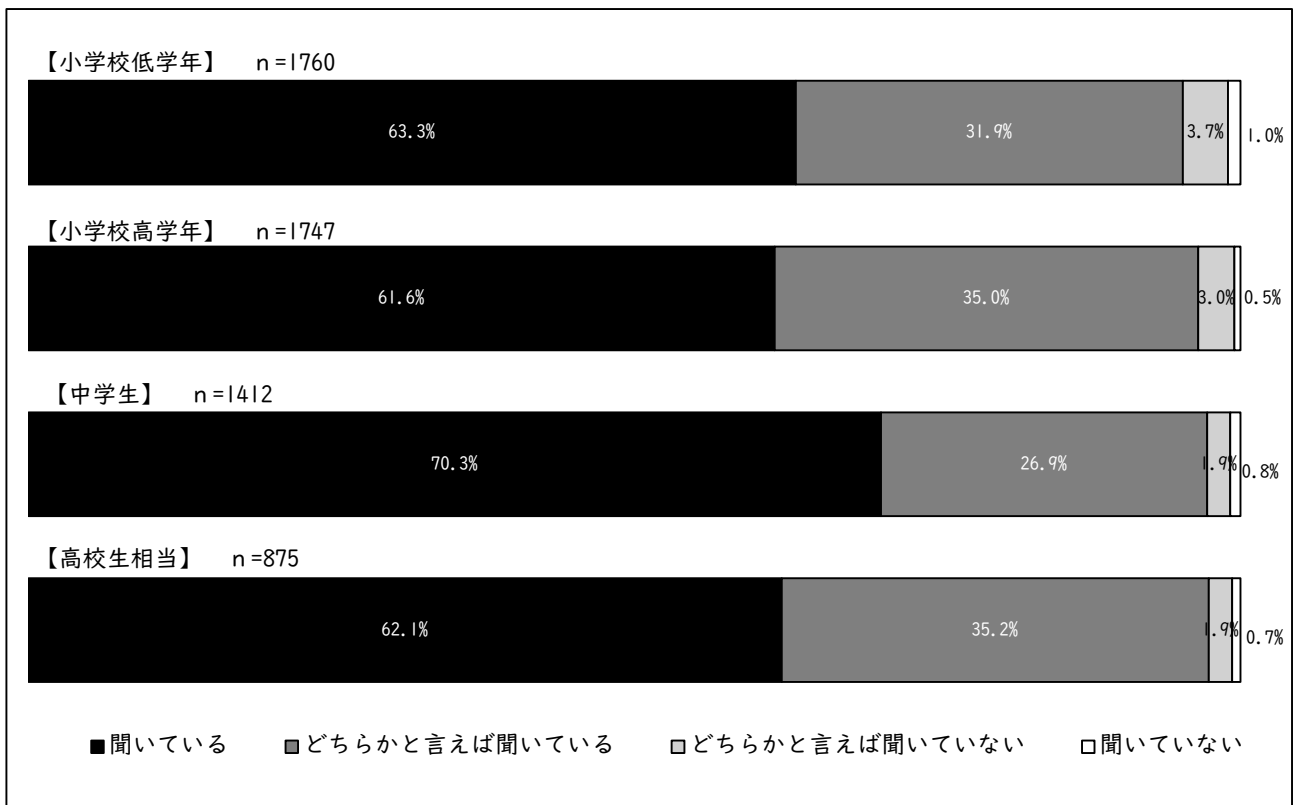
(1) Q4. あなたの周りのおとなは、あなたの気持ちや意見を聞いてくれますか？



何れの調査においても、意見や気持ちを「聞いてくれる」と回答するものの割合が最も高く、以下「どちらかと言えば聞いてくれる」、「どちらかと言えば聞いてくれない」、「聞いてくれない」と続いており、「聞いてくれる」と回答したものの割合は高校生相当が最も低い61.5%、小学校低学年が最も高い67.2%、となっている。一方、「聞いてくれない」と回答したものの割合は、中学生が最も低い0.5%、小学校低学年が最も高い2.1%となっている。

また、意見や気持ちを「聞いてくれる」、「どちらかと言えば聞いてくれる」と回答したものの割合の合計は、小学校低学年が94.2%、小学校高学年が94.7%、中学生が96.2%、高校生相当が94.9%となっており、回答について学齢による有意な差は見受けられなかった。

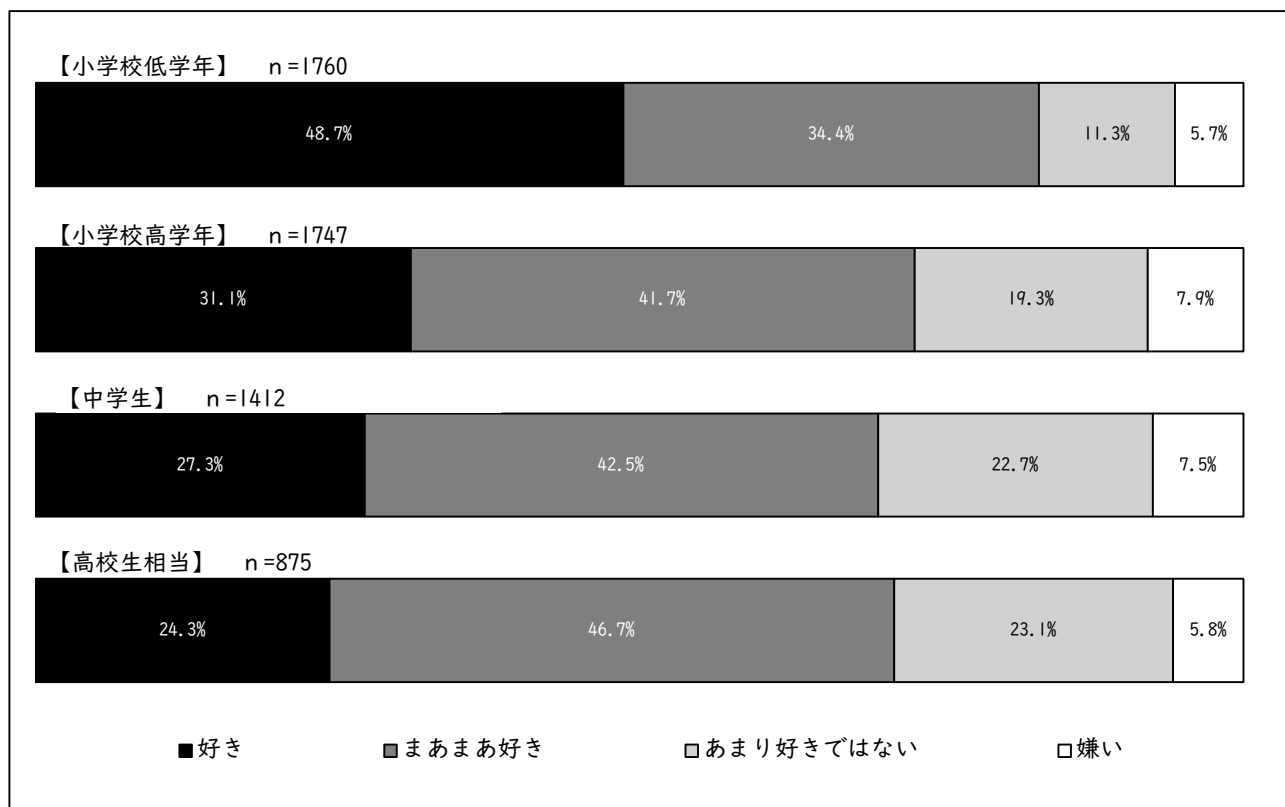
(2) Q5. あなたは、あなたの周りの人の気持ちや意見を聞いていますか？



何れの調査においても、「意見や気持ちを聞いている」と回答したものの割合が最も高く、以下「どちらかと言えば聞いている」、「どちらかと言えば聞いていない」、「聞いていない」と続いており、「聞いている」と回答したものの割合は小学校高学年が最も低い61.6%、中学生が最も高い70.3%となっている。一方、「聞いていない」と回答したものの割合は、小学校高学年が最も低い0.5%、小学校低学年が最も高い1.0%となっている。

また、意見や気持ちを「聞いている」、「どちらかと言えば聞いている」と回答したものの割合の合計は、小学校低学年が95.2%、小学校高学年が96.6%、中学生が97.2%、高校生相当が97.3%となっており、学齢が高い方が「聞いている」、「どちらかと言えば聞いている」と回答するもの割合が高い傾向にあった。

(3) Q6. あなたは、自分のことが好きですか。



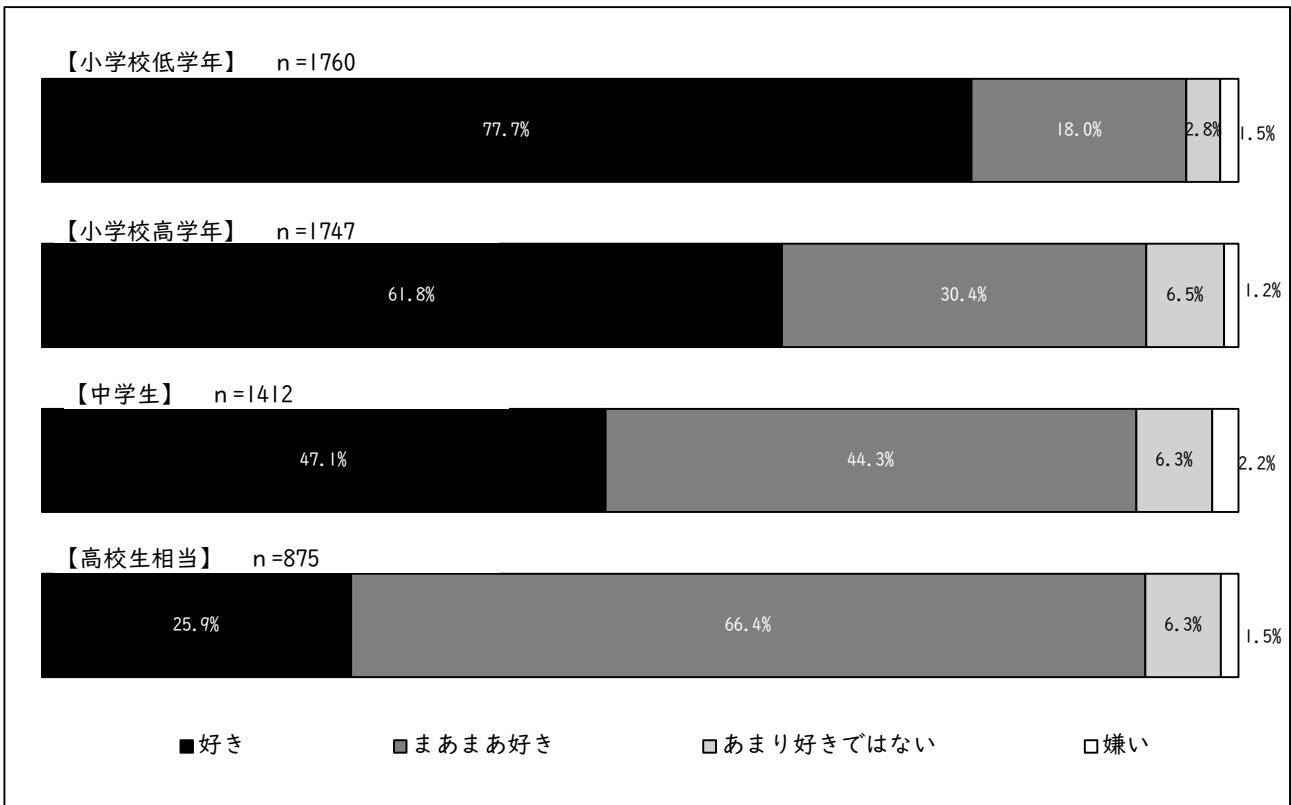
小学校低学年調査においては、自分が「好き」と回答したものの割合が最も高い48.7%となっており、以降、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「嫌い」と続く。

他の学齢の調査においては自分が「まあまあ好き」と回答したものの割合が最も高く、以降、「好き」、「あまり好きではない」、「嫌い」と続く。

自分が「好き」と回答したものの割合は、高校生相当が最も低い24.3%、小学校低学年が最も高い48.7%となっており、学齢が低いほど、自分が「好き」と回答するものの割合が高い傾向にあった。

また、自分が「好き」、「まあまあ好き」と回答したものの割合の合計は、小学校低学年が83.1%、小学校高学年が72.8%、中学生が69.7%、高校生相当が71.0%となっており、小学校低学年は他の学齢と比較して、自分が「好き」「まあまあ好き」と回答するものの割合が高い傾向にあった。

(4) Q7. あなたは和光市が好きですか。



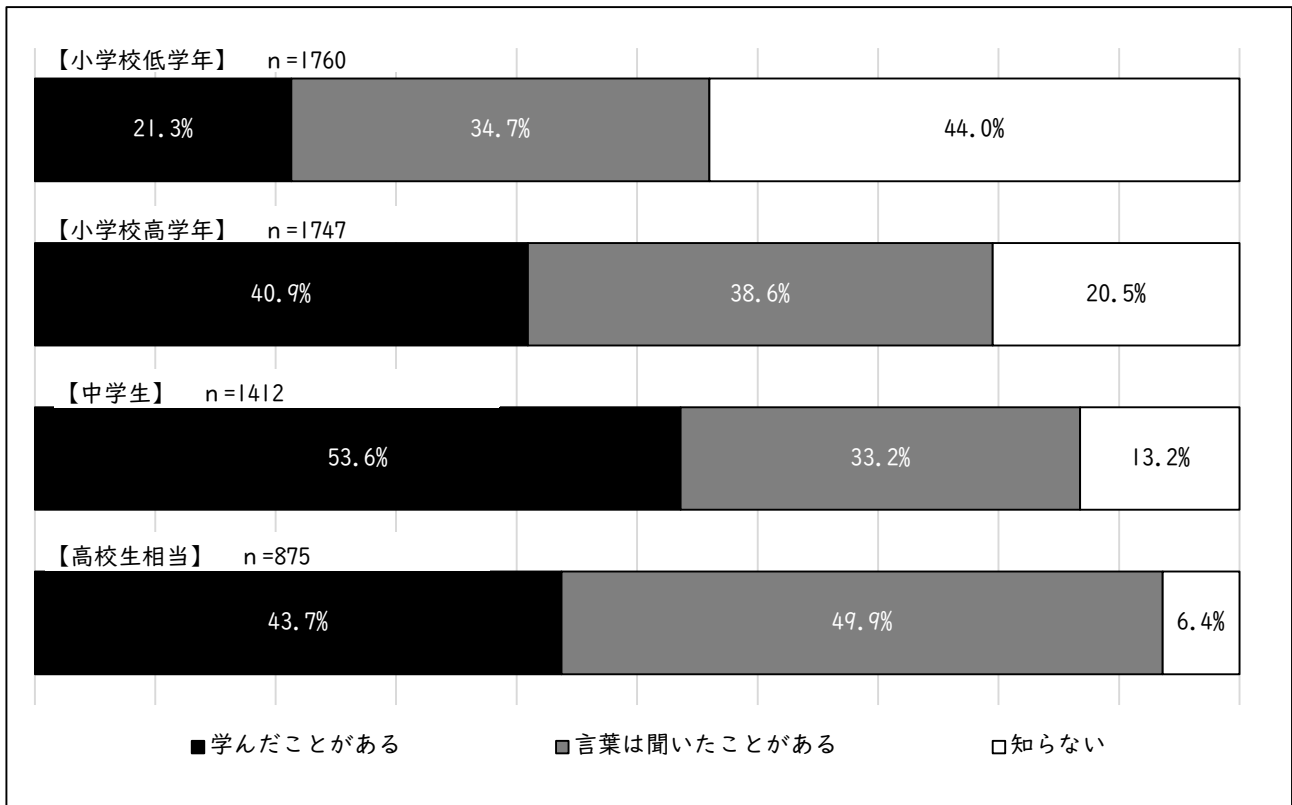
小学校低学年調査、4年生～6年生調査、小学校高学年調査においては、和光市が「好き」と回答したものの割合が最も高く、小学校低学年77.7%、高学年61.8%、中学生47.1%となっており、以降、「まあまあ好き」、「あまり好きではない」、「嫌い」と続く。

高校生相当調査においては和光市が「まあまあ好き」と回答したものの割合が最も高い66.4%となっており、以降、「好き」、「あまり好きではない」、「嫌い」と続く。

和光市が「好き」と回答したものの割合は、高校生相当が最も低い25.9%、小学校低学年が最も高い77.0%となっており、学齢が低いほど、和光市が「好き」と回答するものの割合が高い傾向にあった。

一方、和光市が「好き」、「まあまあ好き」と回答したものの割合の合計は、小学校低学年が95.7%、小学校高学年が92.2%、中学生が91.5%、高校生相当が92.3%となっており、小学校低学年は他の学齢と比較して、和光市が「好き」「まあまあ好き」と回答するものの割合が高い傾向にあるが、小学校高学年、中学生、高校生相当間において有意な差は見受けられなかった。

(5) Q8. あなたは「こどもの権利」について、知っていますか？



小学校低学年調査においては、こどもの権利について「知らない」と回答したものの割合が最も高い44.0%となっており、以降、「言葉は聞いたことがある」、「学んだことがある」と続く。

小学校高学年調査及び小学校高学年調査においてはこどもの権利について「学んだことがある」と回答したものの割合が最も高く小学校高学年40.9%、中学生53.6%となっており、以降、「言葉は聞いたことがある」、「知らない」と続く。

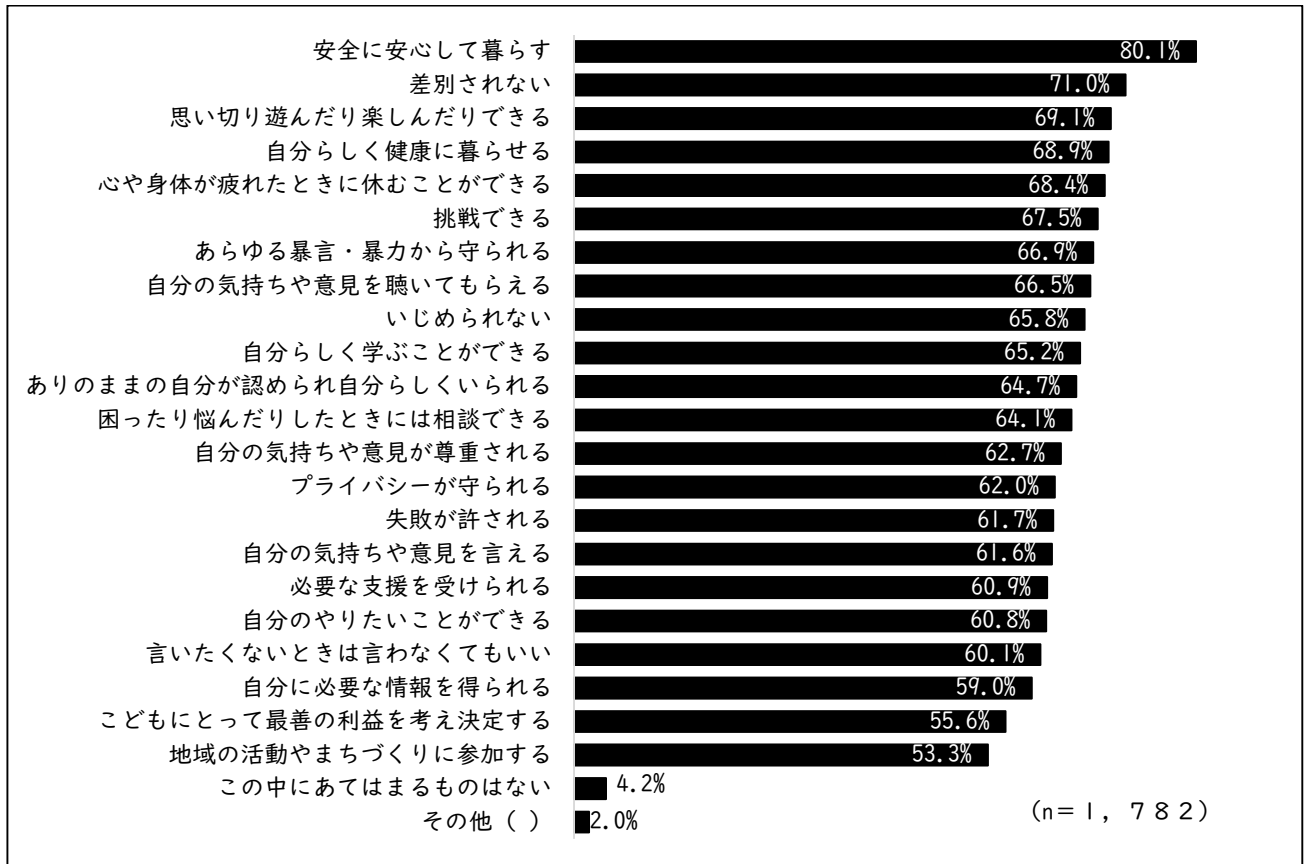
高校生相当調査においてはこどもの権利について「言葉は聞いたことがある」と回答したものの割合が最も高い49.9%となっており、以降「学んだことがある」、「知らない」と続く。

小学校低学年から中学生までは、「学んだことがある」と回答するものの割合は21.3%から53.6%と大きく増加傾向にある一方で、「言葉は聞いたことがある」と回答するものの割合は学齢の上昇と連動しなかった。

一方で、「学んだことがある」、「言葉は聞いたことがある」と回答したものの割合は、小学校低学年が56.0%、小学校高学年が79.5%、中学生が86.8%、高校生相当が93.6%となっており、学齢があがるにつれ、こどもの権利についての認知度が上昇する傾向があった。

(6) Q9. こどもの権利について、あなたが和光市において、特に大切にしてほしいと思うものを全て教えてください。

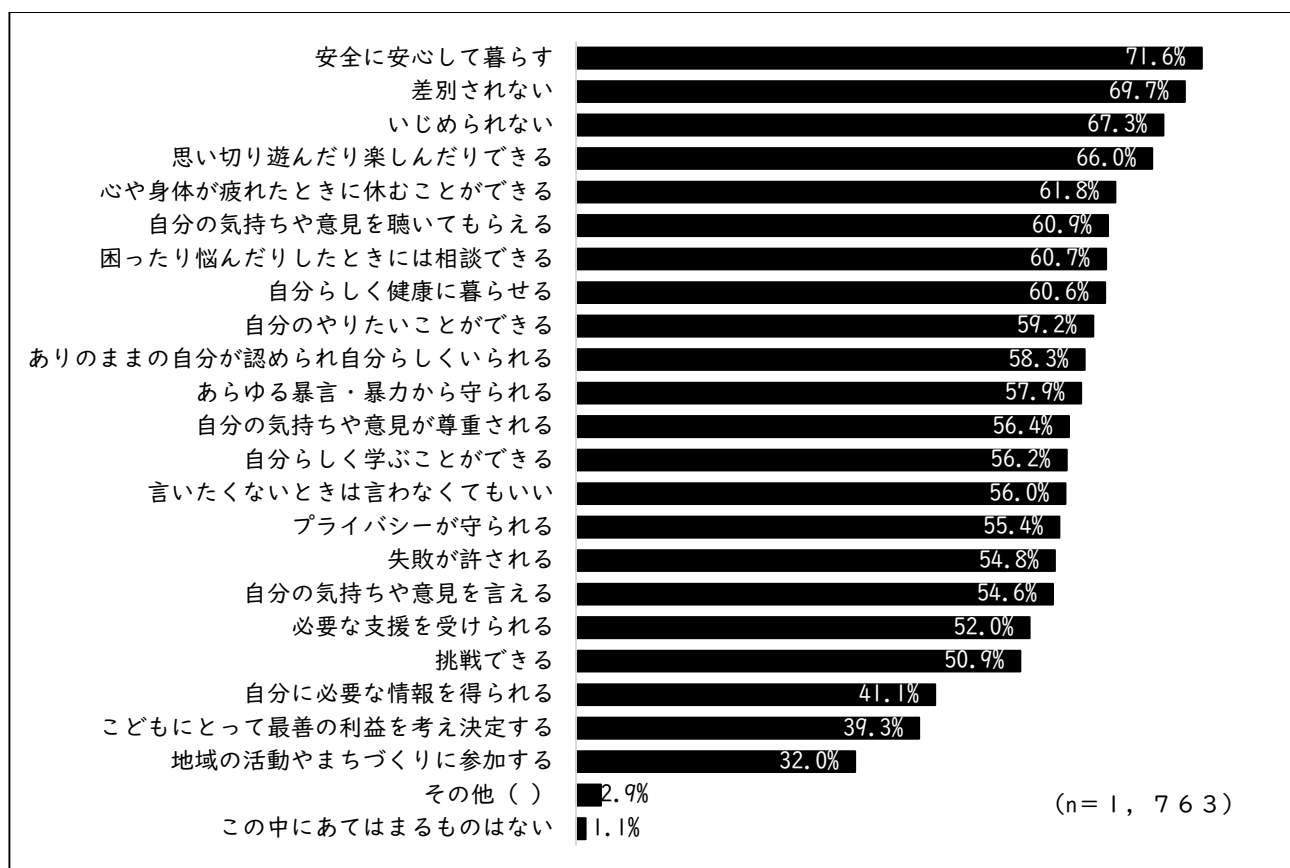
①小学校低学年調査



小学校低学年調査において、特に大切にしてほしいと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

- | | |
|----------------------|--------|
| 1位：安全に安心して暮らす | …80.1% |
| 2位：差別されない | …71.0% |
| 3位：思い切り遊んだり楽しんだりできる | …69.1% |
| 4位：自分らしく健康に暮らせる | …68.9% |
| 5位：心や体が疲れた時に休むことができる | …68.4% |

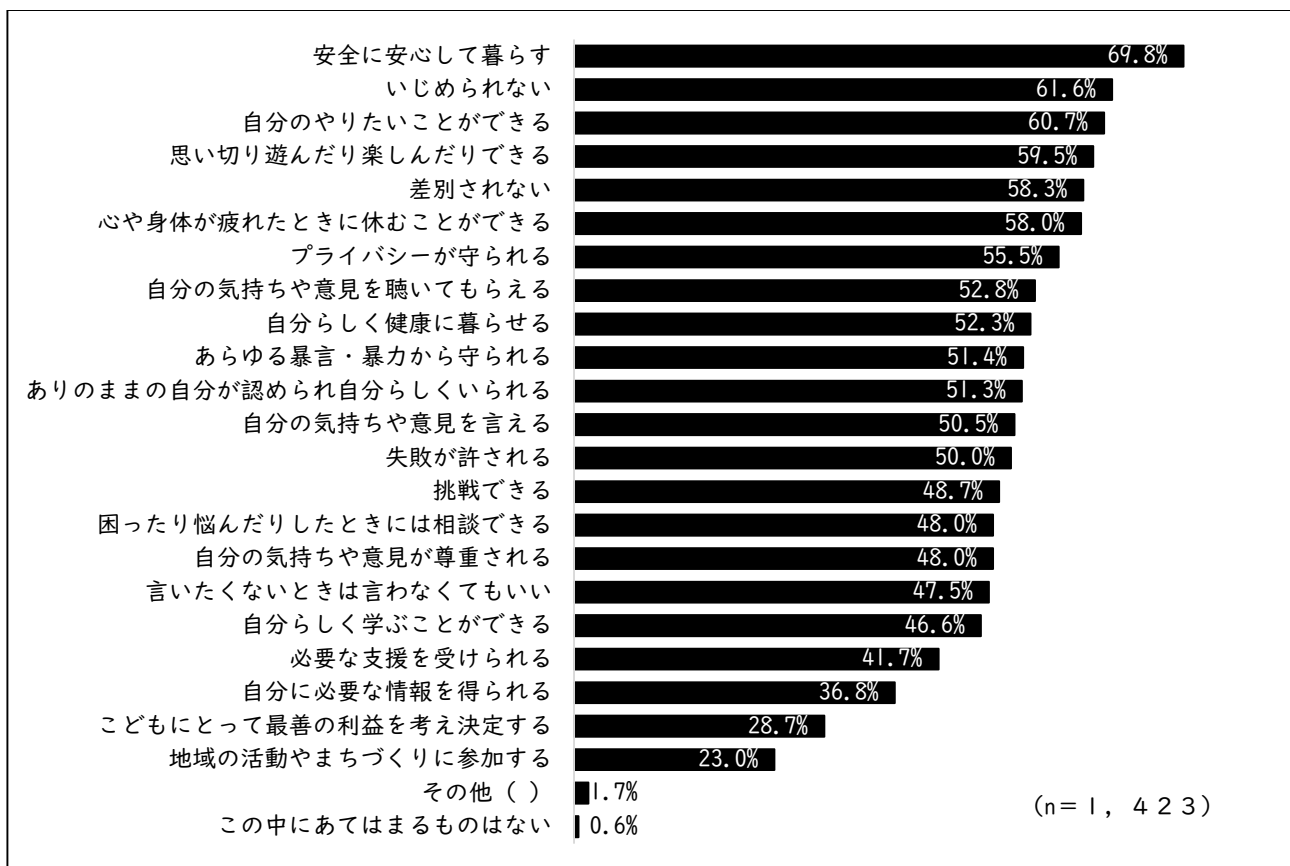
②小学校高学年調査



小学校高学年調査において、特に大切にしてほしいと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

- | | |
|----------------------|--------|
| 1位：安全に安心して暮らす | …71.3% |
| 2位：差別されない | …69.6% |
| 3位：いじめられない | …67.3% |
| 4位：思い切り遊んだり楽しんだりできる | …65.7% |
| 5位：心や体が疲れた時に休むことができる | …61.8% |

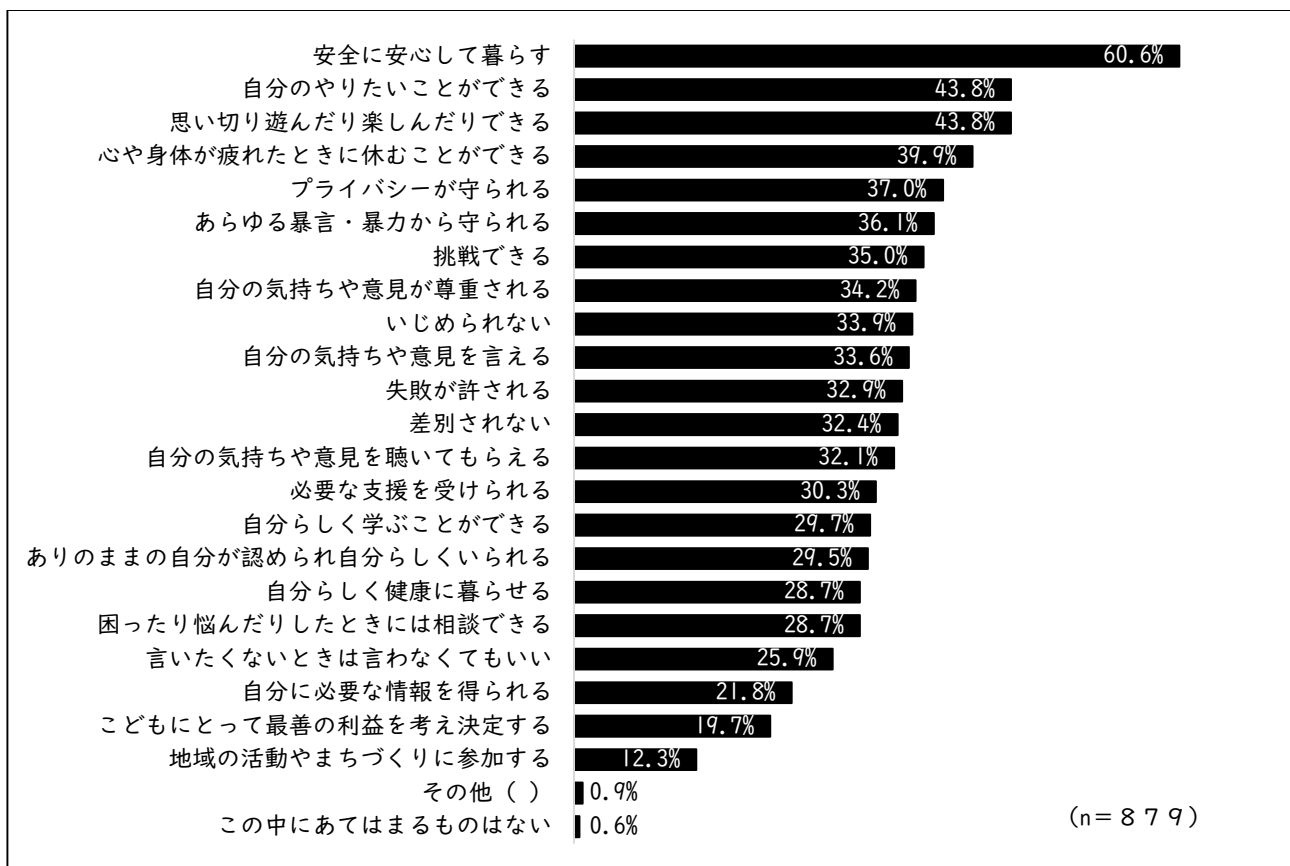
③中学生調査



中学生調査において、特に大切にしてほしいと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

1位：安全に安心して暮らす	…69.7%
2位：いじめられない	…61.6%
3位：自分のやりたいことができる	…60.9%
4位：思い切り遊んだり楽しんだりできる	…59.5%
5位：差別されない	…58.3%

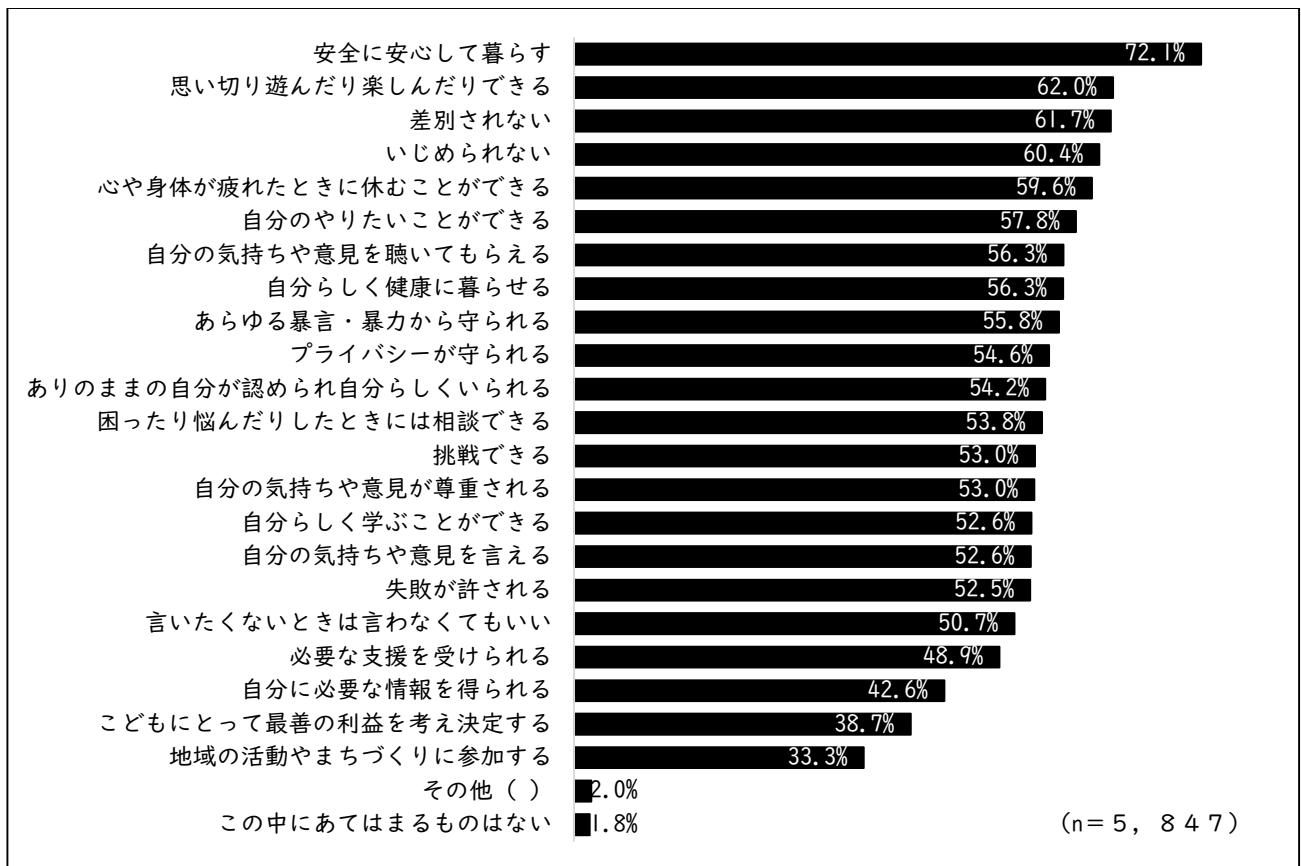
④高校生相当調査



高校生相当調査において、特に大切にしてほしいと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

- | | |
|---------------------|--------|
| 1位：安全に安心して暮らす | …60.6% |
| 2位：自分のやりたいことができる | …43.8% |
| 3位：思い切り遊んだり楽しんだりできる | …43.8% |
| 4位：心や体が疲れた時に休める | …39.9% |
| 5位：プライバシーが守られる | …37.0% |

⑤調査全体



調査全体において、特に大切にしてほしいと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

1位：安全に安心して暮らす	…72.1%
2位：思い切り遊んだり楽しんだりできる	…62.0%
3位：差別されない	…61.7%
4位：いじめられない	…60.4%
5位：心や体が疲れた時に休める	…59.6%

【調査別の特に大切と思うこどもの権利順位】

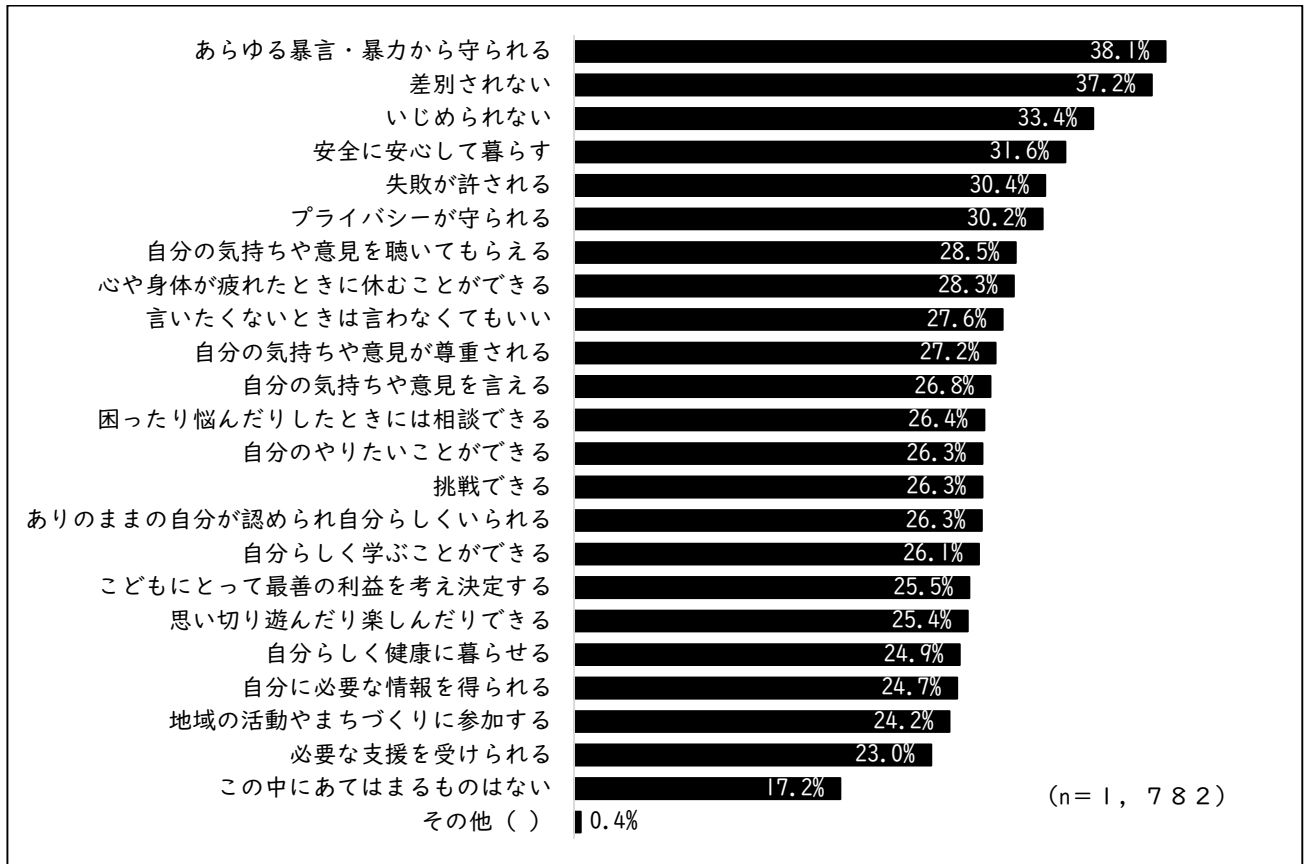
	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生 相当	全体
差別されない	2位	2位	5位	12位	3位
安全に安心して暮らす	1位	1位	1位	1位	1位
あらゆる暴言・暴力から守られる	7位	11位	10位	6位	9位
いじめられない	9位	3位	2位	9位	4位
プライバシーが守られる	14位	15位	7位	5位	10位
挑戦できる	6位	19位	14位	7位	13位
失敗が許される	15位	16位	13位	11位	17位
こどもにとって最善の利益を考え決定する	21位	21位	21位	21位	21位
自分の気持ちや意見を言える	16位	17位	12位	10位	16位
自分の気持ちや意見を聴いてもらえる	8位	6位	8位	13位	7位
自分の気持ちや意見が尊重される	13位	12位	15位	8位	14位
言いたくないときは言わなくてもいい	19位	14位	17位	19位	18位
地域の活動やまちづくりに参加する	22位	22位	22位	22位	22位
ありのままの自分が認められ自分らしくいられる	11位	10位	11位	16位	11位
心や身体が疲れたときに休むことができる	5位	5位	6位	4位	5位
思い切り遊んだり楽しんだりできる	3位	4位	4位	3位	2位
自分のやりたいことができる	18位	9位	3位	2位	6位
自分らしく学ぶことができる	10位	13位	18位	15位	15位
自分に必要な情報を得られる	20位	20位	20位	20位	20位
困ったり悩んだりしたときには相談できる	12位	7位	15位	17位	12位
必要な支援を受けられる	17位	18位	19位	14位	19位
自分らしく健康に暮らせる	4位	8位	9位	17位	8位
その他（ ）	24位	23位	23位	23位	23位
この中にあてはまるものはない	23位	24位	24位	24位	24位

特に大切だと思うこどもの権利（複数の調査において順位が高い権利）については下記のとおり。

安全に安心して暮らす	…すべての調査において1位
思い切り遊んだり楽しんだりできる	…すべての調査において2位から4位に集中
差別されない	…高校生相当調査を除き2位から5位に集中
いじめられない	…小学校低学年・高校生相当調査を除き2位から4位に集中
心や体が疲れた時に休める	…すべての調査において4位から6位に集中

(7) Q10. あなたやあなたの周りで、守られていないことがあると思うこどもの権利を全て選んでください。

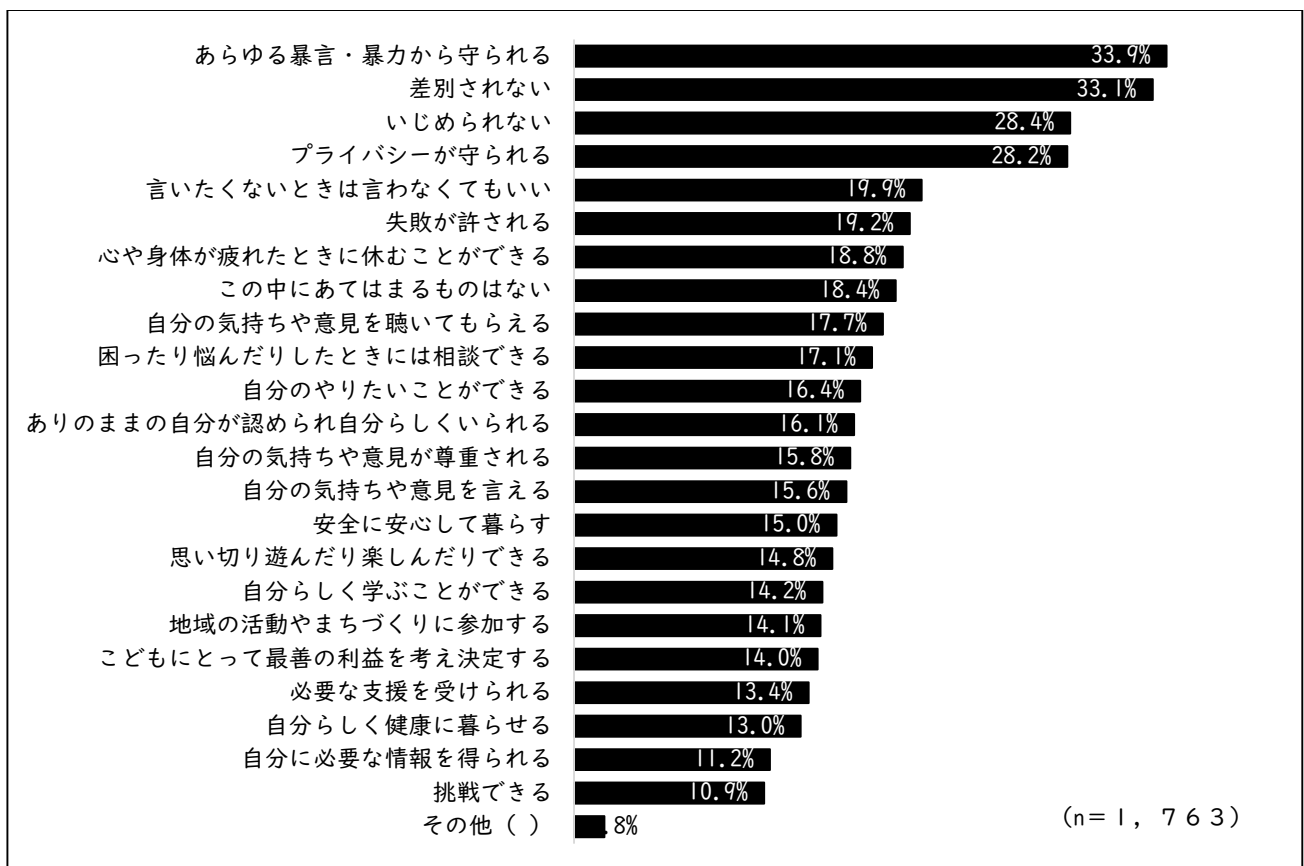
①小学校低学年調査



小学校高学年調査において、守られていないと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

- 1位：あらゆる暴言・暴力から守られる … 38.1%
- 2位：差別されない … 36.7%
- 3位：いじめられない … 35.2%
- 4位：安全に安心して暮らす … 31.1%
- 5位：プライバシーが守られる … 30.3%

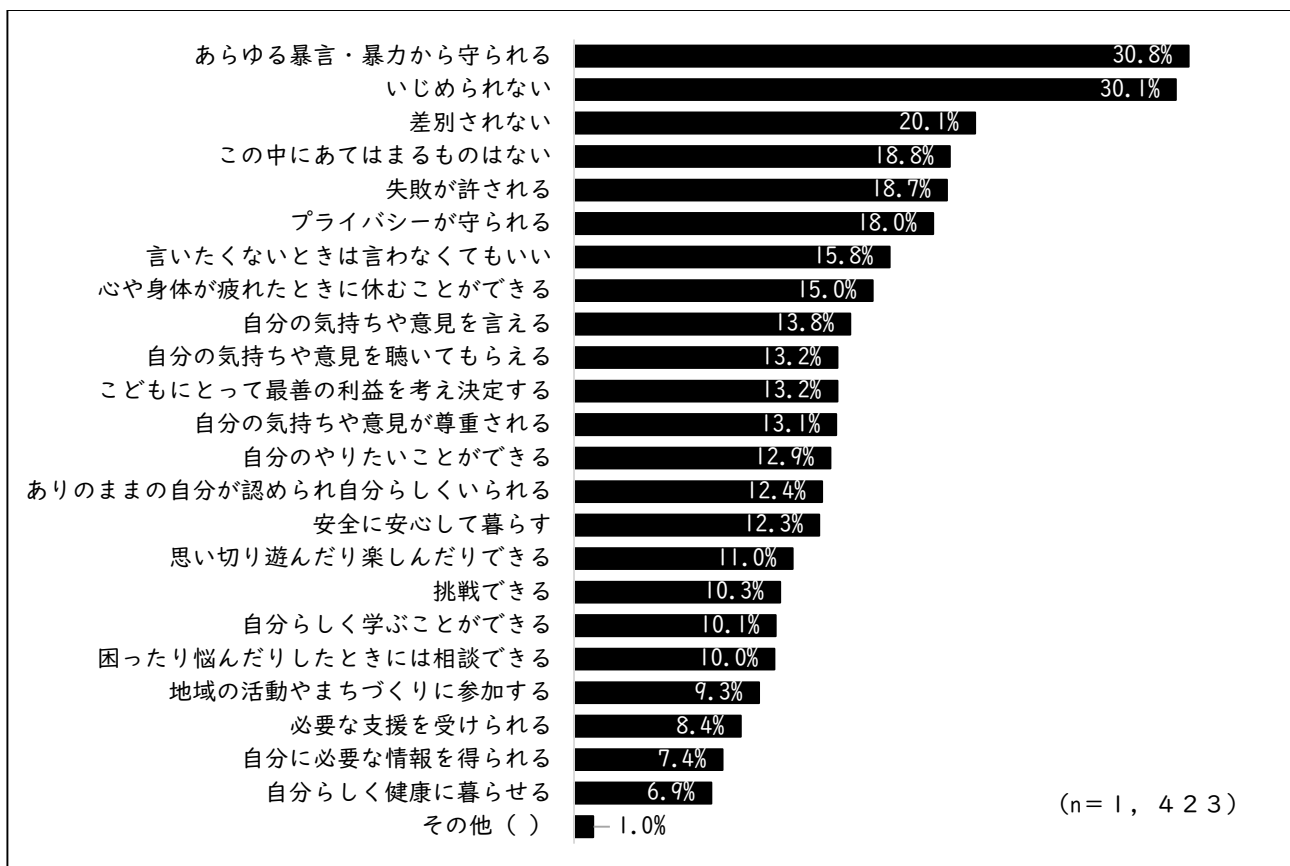
②小学校高学年調査



小学校高学年調査において、守られていないと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

1位：あらゆる暴言・暴力から守られる	…34.0%
2位：差別されない	…33.8%
3位：いじめられない	…29.2%
4位：プライバシーが守られる	…28.2%
5位：言いたくない時は言わなくてよい	…20.3%

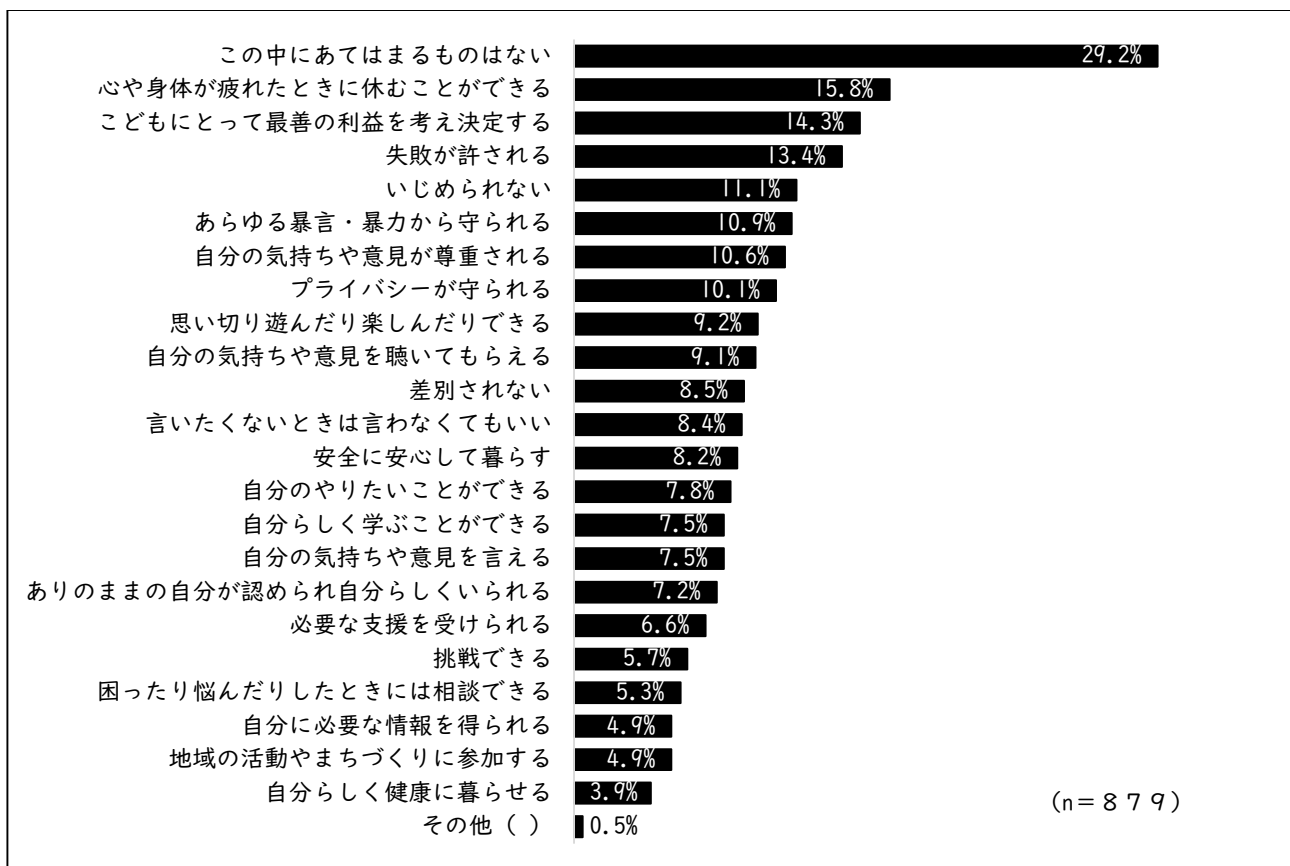
③中学生調査



中学生調査において、守られていないと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

- | | |
|--------------------|--------|
| 1位：あらゆる暴言・暴力から守られる | …30.7% |
| 2位：いじめられない | …30.1% |
| 3位：差別されない | …20.2% |
| 4位：この中に当てはまるものはない | …18.9% |
| 5位：失敗が許される | …18.8% |

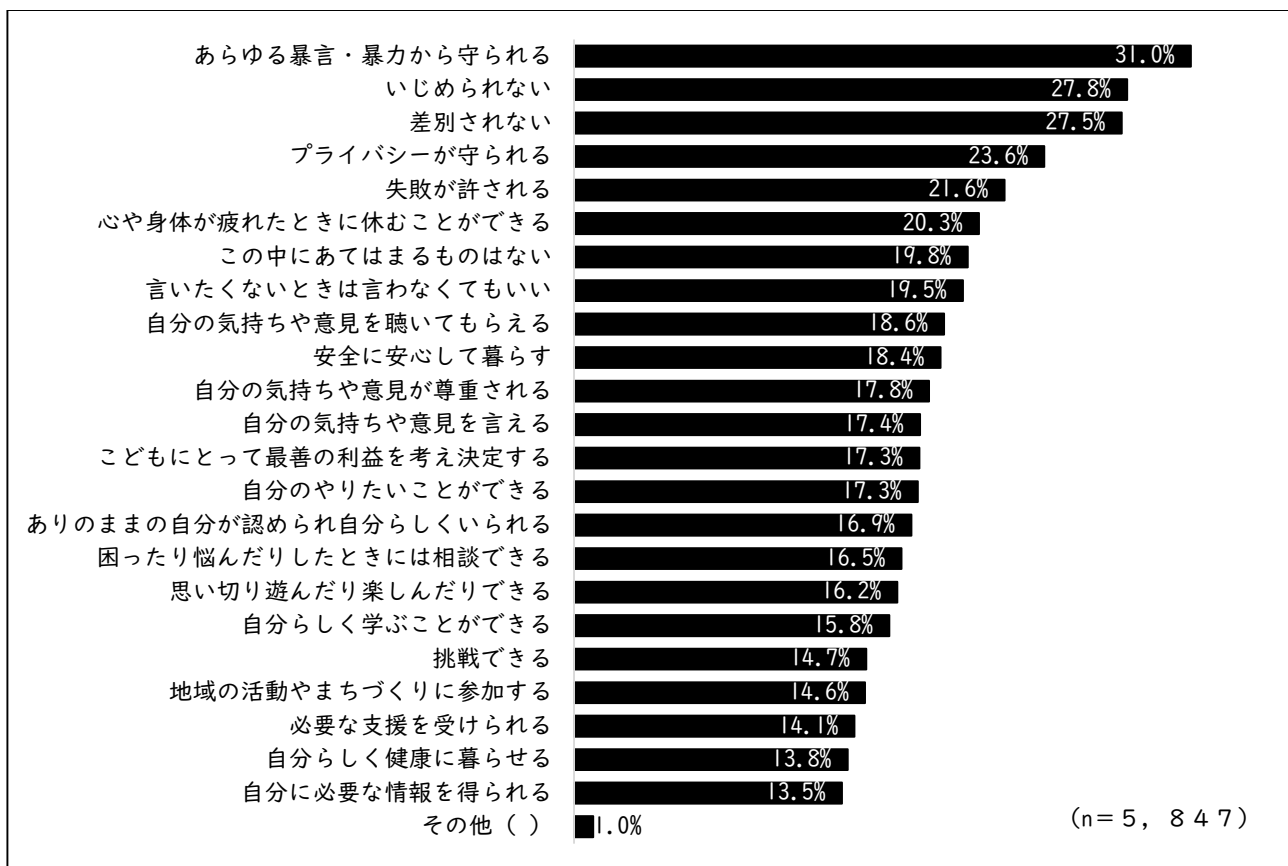
④高校生相当調査



高校生相当調査において、守られていないと思う子どもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

1位：この中に当てはまるものはない	…29.2%
2位：心や体が疲れた時に休める	…15.8%
3位：子どもにとって最善の利益を考え決定する	…14.3%
4位：失敗が許される	…13.4%
5位：いじめられない	…11.1%

⑤調査全体



調査全体において、守られていないと思うこどもの権利のうち、回答するものの割合が多かった上位5位までの事項は以下のとおり。

1位：暴言・暴力から守られる	…31.0%
2位：いじめられない	…27.8%
3位：差別されない	…27.5%
4位：プライバシーが守られる	…23.6%
5位：失敗が許される	…21.6%

【調査別の守られていないと思うこどもの権利順位】

※()内は回答者数

	小学校 低学年	小学校 高学年	中学生	高校生 相当	全体
差別されない	2位(663)	2位(584)	3位(286)	11位(75)	3位(1608)
安全に安心して暮らす	4位(564)	15位(265)	15位(175)	13位(72)	10位(1076)
あらゆる暴言・暴力から守られる	1位(679)	1位(598)	1位(438)	6位(96)	1位(1811)
いじめられない	3位(596)	3位(501)	2位(429)	5位(98)	2位(1624)
プライバシーが守られる	6位(538)	4位(498)	6位(256)	8位(89)	4位(1381)
挑戦できる	13位(469)	23位(192)	17位(147)	19位(50)	19位(858)
失敗が許される	5位(541)	6位(339)	5位(266)	4位(118)	5位(1264)
こどもにとって最善の利益を考え決定する	17位(454)	19位(246)	10位(188)	3位(126)	13位(1014)
自分の気持ちや意見を言える	11位(478)	14位(275)	9位(197)	15位(66)	12位(1016)
自分の気持ちや意見を聴いてもらえる	7位(507)	9位(312)	10位(188)	10位(80)	9位(1087)
自分の気持ちや意見が尊重される	10位(484)	13位(279)	12位(187)	7位(93)	11位(1043)
言いたくないときは言わなくてもいい	9位(492)	5位(351)	7位(225)	12位(74)	8位(1142)
地域の活動やまちづくりに参加する	21位(431)	18位(249)	20位(132)	21位(43)	20位(855)
ありのままの自分が認められ自分らしくいられる	15位(468)	12位(283)	14位(177)	17位(63)	15位(991)
心や身体が疲れたときに休むことができる	8位(505)	7位(332)	8位(213)	2位(139)	6位(1189)
思い切り遊んだり楽しんだりできる	18位(452)	16位(261)	16位(156)	9位(81)	17位(950)
自分のやりたいことができる	13位(469)	11位(289)	13位(183)	14位(69)	14位(1010)
自分らしく学ぶことができる	16位(465)	17位(251)	18位(144)	15位(66)	18位(926)
自分に必要な情報を得られる	20位(440)	22位(198)	22位(106)	21位(43)	23位(787)
困ったり悩んだりしたときには相談できる	12位(471)	10位(301)	19位(143)	20位(47)	16位(962)
必要な支援を受けられる	22位(410)	20位(237)	21位(119)	18位(58)	21位(824)
自分らしく健康に暮らせる	19位(443)	21位(229)	23位(98)	23位(34)	22位(804)
その他()	24位(8)	24位(31)	24位(14)	24位(4)	24位(57)
この中であてはまるものはない	23位(306)	8位(325)	4位(268)	1位(257)	7位(1156)

最も守られていないと感じられている権利(複数の調査において順位が高い権利)については下記のとおり。

- あらゆる暴言・暴力から守られる …高校生相当を除くすべてのグループで1位
- いじめられない …2位から5位に集中
- さべつされない …高校生相当調査をのぞき2位から3位に集中
- 失敗が許される …4位から6位に集中

(8) Q11. 自由記述

※基本的には原文をそのまま掲載していますが、一部編集しています

※内容的に重複するものについては、その内の一つを抜粋しています

①小学校低学年調査

- ・「子どものけんり」があることで楽しく子どもが自分らしく、くらせていいと思いました。私はこれからも子どものけんりを大切にしたいと思いました。
- ・「子どもの権利」は大切だと思いました和光市はもうできてるかもしれないけどもっとよりよい街にするためにあると思いました。私は、自分らしく学べたり健康でいられること、秘密が守られる、いじめがないをなくしたいです。いつでも相談ができる人もいるし、110番の家もあっていいいつでも何が起きて110番の家や他の人が守ってくれるからいつでも安心です。交通指導員さんも車から守ってくれて凄く良い街です。これからも和光はどんどんレベルアップしてよい街になっていくと思います。
- ・こどもには自由に生きる権利がある。遊んだり、しゃべったり、はしゃいだり、ないたり、笑ったり、走ったりする。
- ・こどものけんりがあるすので、とっても、とっても嬉しいです。いまのようにこどものけんりがあるといじめられたり、しないので、こどものけんりがあるので、こういうことがなくなります。これがこどものけんりの一番うれしいところです。あってよかったと思いました。
- ・こどものけんりで、自分は自分の意見が出る時があるけど、出ないときもあるから、「こどものけんり」を意識して、自分の気持ちや意見を言えるようにしようと思う。
- ・せんそうをやめる
- ・ちゃんと子供の声を聴いたほうがよりみんなが平等に過ごせると思う
- ・みんなが仲良くいろいろな人がふれあえる和光市にしたい
- ・虐待防止のためそれについて活動をしてほしいです。本当に難しいと思いますが 和光市の子供が住む家にインタビュー？アンケート？をしてほしいです。「死にたい」、「消えたい」そんな思いをするこどもたちをたすけるためにやって欲しいです。いじめっ子を撲滅する、みたいな活動を行ってほしいですまた子供たちに権利を知ってもらうためにイベントやキャンペーンの開催を検討してほしいです。またチャイルドラインで「つぶやき」でカウンセリングさんがそのつぶやきに返信する機能を追加してほしいです。子どもの権利を守れるよう 頑張ってくださいね
- ・子どものけんりはいろいろなことにつながっているから大事にしようと思いました。特に自分の意見を大切にしたり、叩かれたり、けられたり、悪く言われなことが大切だと思いました。
- ・僕も前より周りを見て生活したいと思います。”
- ・子どもの権利は、挑戦することだと思いました
- ・子供の権利は、こどもがのびのびと学び、自分らしく生きるために大切なものだと思います。そして、すごくたいせつなものだと思います。
- ・私は「こどものけんり」について自分らしさを大切にして欲しいと思いました。どうしてかというと、自分の色(個性)を大切にして生きてほしいからです。自分を大切にしないと、「自分が自分ではない」

ことになるかもしれない、そうならないためには、自分の色（個性）を大事にして、生きていくことが大事だと思います。

- ・私は暴力を振られたことがあるのでいじめやみんながたのしくらせるようにしたいです。
- ・自分の、心をもっと大切にしたい。
- ・自分らしく生きることがたいせつだと思います。たのしくあそんだりたのしいことも「こどものけんり」なんだとおもった
- ・生活に困っているみんなが「こどものけんり」にすくわれて、自分らしく生きてほしいです。
- ・僕はこのアンケートをして、子どもの権利がないと社会が進まないと思います。僕が一番大切だと思った子供の権利は、「あんぜんであんしんにくらす」です。これからは、子どもの権利すべてを頑張りたいです。

※こどもの権利の必要性や大人への周知に関する意見 81件

いじめをなくしたい等いじめに関する意見 11件

こどもの権利と大人の権利の違いや、大人にこども権利を知ってほしい等の意見 6件

遊び、休息、居場所等に関する意見 5件

上記以外の様々な意見・感想も含め、合計178件の自由意見をいただきました。

②小学校高学年調査

- ・子供の権利は、大人によって自由に動かされたり、奪われたりしたり、一部の人が守られれば良いということではなく、すべての人がその権利を大切にすることができることが大切だと思いました。すべての子供の個性が認められるような和光市にしていけるといいと思いました。
- ・伝えたいこと>私が最も安心できる場所は家ですが、家だけではありません。木や花が咲いて居たり、鳥などの動物が居たりする自然豊かな場所がとても落ち着きます。なのでこの和光市にもっと自然を感じられるような場所を作ってほしいです。私のわがままに過ぎませんが、よろしく願いします。
- ・「おとなは、こどもにとって一番よいことは何かを考えてこどものことを決める」は、大人が勝手に決めているのかと思った。
- ・「子どもの権利」があっとうれしいです。私は悩んでいることがたくさんあります。休む時間がなかったり、好きなことができなったり、やりたくないことをやると言われたりしています。
- ・「子どもの権利」を知り思った事は、差別や偏見、いじめを無くすことができる非常に良い言葉だと思いました。「自分らしく」や「虐められない」という言葉はどの時代でも確実にできるわけじゃないけどこのようなことのおかげで私たち子供が安心していられる「権利」を作ってくれたのは良いなと思いました。伝えたいことは特にないけれども、ひとつ言うならいじめを最大限抑えられる対処が増えてほしいです。
- ・サッカーできない公園が多いから、ボール可能にしてほしい。(極力気を付ける。)
- ・子どもの権利は、生きていくために必要なことだと思った。
- ・子どもの権利がなかったら楽しく生活をしたり、自分らしく生きることが難しかったりできないかもしれない。
- ・子どもの権利は、誰もが守ったり、大切にすることだと思う。
- ・子供の意見ばかりないがしろにするのではなく子供の意見も大切にしてほしい
- ・子供は教育を受ける権利があるのに先生の気持ちだけで授業を止めないでほしい”
- ・心が不安になった時に相談したいけどするのが不安勇気があるからなかなか難しい
- ・地域でのイベントなどをもっと増やしてもらいたいそれに参加して地域の人達と協力したい和光市でのイベントが少ないから
- ・もし友達などに嫌なことをされたら誰に相談すればいいのか？
- ・「大人は子供にとって一番良いことは何かを考えて子供のことを決める」というのは大人が「これがいいと思う」って言ってしまったらそれは子供が言いなりになるしかないので、じぶんでやりたいことややってほしいことはじぶんで決めていいと思う。だからこの「大人は子供にとって～～」は必要ないんじゃないかなと思う。
- ・いじめをされたりしたりといことがたくさんある。特に言葉の暴力や乱暴が多い。あとは、発表や大事なあ仕事、種目で失敗をしてしまったら、それを馬鹿にしたりそのことがきっかけで、いじめが起きたりなど、失敗が怖くなる行為がある。
- ・こどもと（障害のない子）障害があるこどもではずいぶん違うが、かわらないありのままの生活ができる日常をあたえてあげてほしい。
- ・こどもの権利は親ではなく自分自身で決めるのが大切だと思います。

こどもの権利は自分で決めたほうが良いといったけれど何をやっても良いと勘違いされることもあるので子供の権利について詳しくみんなと知れたらいいと思いました。

- ・すべて子供のためということだけでは大人も大変だろうから、子供大人関係なくだれでも大切にするための条例が欲しい。
- ・高学年や中高生が遊べる児童館みたいなのが欲しい 道路を広くしてほしい（歩道）
- ・みんなが楽しくらせるように市でもう少し工夫してほしい。子供のことについて大人に伝えてほしい。
- ・もっと、子供たちが抱えている問題を相談しやすい場所を作ってほしい。つらいことがあっても、相談するのに時間がかかってしまったりしている。”
- ・もっと子供たちがくらしやすい場所にしていきたい。例えば、自分の意見を言えるとか、自分らしく生きることができるところになっていけばいいと思います。
- ・もっと小学校の高学年が遊べるところを作ってほしい。
- ・何より子供が楽しく暮らせるまちにしてほしいと思いました。今は子供と大人の差別もないし、特に子供が暮らしにくいわけではないので、これからはより楽しく暮らすことができる和光市にしてほしいです。
- ・思ったことは権利を守らない人はなぜ守らないのかなぜそんなことするのかと思いました
- ・子どもの権利というのは、自分らしく、安全に、健康に、安心して、楽しく過ごすことだと思います。私は、特に自分らしく生きることが大切だと思います。なぜかという、自分の好きなことをたくさんして、自分の夢に向かって努力する。そんなふうに、ありのままの自分であると、自由でいいなと思ったからです。
- ・子どもの権利は、どんな外国人の子供でも、どんな子供でも、優しくするといういいことがされていること。
- ・私が子供の権利について思ったことは、子供が自由に安心安全に暮らす権利が守られていないことがあるのが怖いと思いました。そう思うと、和光市はとても安全だし、これからも安心して過ごすことができると思います。そして、子供の権利について聞いたことはあったけれど、子供の権利の中に失敗が許されること、挑戦することがあるのを初めて知りました。それを知って少し安心しました。これからも、安全な和光市が守られてほしいです。
- ・自分の好きなことを言っても誰にも否定されず、否定される権利がないようにしたい。（すでにあったらそれを大切にしてほしい）
- ・人は、生まれながらにして大事な権利を持っていて、それは守られるべきであるものであるから、和光市もこれからもずっとその権利を大事にしてほしい。

※こどもの権利の必要性や大人への周知等に関する意見 128件

いじめをなくしたい等いじめに関する意見 68件

遊び、休息、居場所等に関する意見 67件

困ったときの相談先等に関する意見 22件

上記以外の様々な意見・感想も含め、合計481件の自由意見をいただきました。

③中学生調査

- ・LGBT+Q の理解をもっと広げてほしいです。お願いします。
- ・いじめについては、なくなるように努力して欲しいです。
- ・インターネットなどでの、プライバシー保護を強化していくべきだと考えました。
- ・こどもが安心して生活でき、それぞれのやりたいことを好きにできることが大切だと思います。例えば集団行動を絶対にすると決めるのではなく一人が好きの子だっているからそういう人を無理に誘ったり、逆にみんなと一緒にいたいという人を一人にさせないようにしてほしい。一人一人が言葉だけでなくちゃんとした形で尊重されてほしいと思う。
- ・こどもの権利があることで、こどもが自分から将来に向かって学びたいことを学ぶことができるのがありがたいと思う。
- ・これからもこども達の尊重や自由を大切にしていきたいし、周りの方々にも大切にしていっていただきたいなと思う。
- ・ほんとに子どもの権利は大切なことだと思います。ですが、きっと知られていないだけでいじめや自分の思いを言えないなど困っている人がいます。そのような人のためにも子どもの権利のようなものを作っていくのはいいと思います。
- ・いじめなど学校に行けない人がいなくなが減る、いなくなるようになってほしいです。”
- ・もっと子供の意見を主張できる機会をもうけてほしいです
- ・もっと発達障害の子供への支援を増やしてほしいです。学校に行けている子でも、支援学校・学級に移動できる制度にしてほしいです。
- ・学校という場が、もっと自分が成長できる場になってほしい。また、もっと生徒と先生の間壁がなく話しかけやすい雰囲気になってほしい。
- ・公園など自然豊かな和光市が、大好きで、将来、この街の「ちょうどいいまち」の観点での発展に関わる仕事をしていきたいと思っています。最近、住宅街のすぐ近くに工場ができて、たくさんのトラックが走っています。生活道路として市民の足となっていたり、小中学生の通学路となっていたりする道路なので、トラックなど大型車の通行を、こどもを守るという観点からも、見直してみただけでないでしょうか。よろしくお願いします。
- ・差別はよくない、みんなが安心して安全に安定して暮らせるようになってほしい。
- ・最近、多くの公園でボール遊び、ローラースケート等の遊びが出来なくなっていて、子供が体を動かすことが十分にできなくなっていると感じます。そのため、その遊び自体を禁止するのではなく、別の安全のためのルールを作るべきだと考えます。ご検討宜しくお願い致します。
- ・最近いじめの様子がネットで拡散されたというニュースをよく見るので、和光市は拡散されてからいじめに気付くのではなく、拡散される前にいじめに気付く、いじめを未然に防げる市であってほしいです。
- ・最近の人は、ネガティブ思考の人が多いと思うから、自分の意見をしっかりとということがすごく難しいと思う。
- ・子どもの権利について読みこの権利はすべて子供にとって大切なものだと思った。だからこそこの権利を守ることはよりよい社会、未来につながると思った。

差別をなくすためにはお互いのことを知ることから始めるといいと思う。

- ・子どもの権利は「子供が自由に学び安全に暮らせる」というのが大半のように感じた。だがこの権利が今は必要だと感じた。こどもは何も知らないから誤情報に流されやすいのもあるから間違いのないように学べる環境にいられる権利はとてもいいと思った。
- ・子どもの権利はしっかりと守られたほうがいいと思いました。失敗が許されたり、自分らしさを尊重されることは将来に役立つと思いました
- ・子どもの権利を否定されるようなことは家の中で起きるケースが多いと感じている。いまだに、子供は親が管理(極端に言うとは支配)すべきと考える人がいるため児童館などの親から逃げられるような場所があることが心の支えになっている。
- ・私は、もともと虐められていたことがあった過去があり、こういうアプリを開発することによって、道や、子供が遊んでいるところでいじめられている子がいたら、大人もそのアプリを通して行動してくれるかはわからないけれど、このアプリを通じて虐められている子を少なくしたいと思った。
- ・子供たちの意見を直接、市にいえるようにしてほしい
- ・子供たちの人権や人生は、大人たちの行動にかかっていると思うので、責任感を持ち、誰もが安心して生活できる環境を作ってほしいです。
- ・子供の権利とは子供のためにどのような活動を行っているのかが分からないと感じた。実際に、ニュースなどでも子供の権利についてあまり触れられていない。そのため、できる限りで良いので、もう少し活動の幅を広げてほしいと思った。また、学校などに子供の権利に関するポスターなどを設置したり、実際に学校でご指導をしていただき、生徒たちに子供の権利をより詳しく知っていただけるような取り組みを増やしていくと良いのではないかと思った。
- ・子供は親の所有物ではないので親の価値観を押し付けなくてほしい。何でもかんでも制限をつけないでほしい
- ・子供を守る権利がこの市でも出来たらいいと思った。いつでも挑戦することができる市にしていきたいと思う。
- ・私が今挑戦したいことはどうしてもお金がたくさん必要なもので、最初の挑戦し始めるハードルがとても高いです。その支援を受けられる制度があると、未来がぐっと広がるな、と思っています。
- ・私も、私の周りの人もつらい時期があるので、自分の意見をはっきり言えないこともあって、だから相談できるサイトがあるので安心だなと思いました。”
- ・挑戦できる、失敗が許されるということが最も大事だと思う。
- ・和光市は図書館や児童館が充実していて楽しいです。また、もっとこのような意見を言える場を増やしてもらえると自分たちも街づくりに協力していると思えていいと思います。

※こどもの権利を知った、こどもの権利は大切だと思う等権利の内容に関する意見 71件

いじめをなくしたい等いじめに関する意見 22件

困ったときの相談先等に関する意見 17件

遊び、休息等に関する意見 11件

挑戦や失敗が許されること等への意見 8件

上記以外の様々な意見も含め、合計 271 件の自由意見をいただきました。

④高校生相当調査

- ・こどもの権利が思っていたよりも身近にある内容であることを知った。自分自身の心や体が疲れてしまい、学校を休むことも時々あるため、そのような人を支えられる体制がもっと整って欲しいと思う。
- ・こどもの権利条例の制定にあたって和光市が子どもがより健やかに育つことのできる環境になることを願っています
- ・これは和光に限らずそうですが、あまりに子供の意見を聞いてもらえないと実感しています。今までこうだったからこれが正しい。やったこともないのに、やったら失敗するから、うまくいかなければと否定される。そんな毎日です。
こどもの権利と綺麗事を言いたいのであれば、まずは学校の教員や世の大人の考え方が変わる必要があります。厳しいことを言うようですが、現状そのように感じます。子どもだから大人に舐められています。同じ日本に生きる人間なのに、許されません。頑張ってください。
- ・ボール遊びできない公園が増えてあまり楽しく遊べなかった事が不満だったことを覚えています。また、公園周辺でも子供の声に過敏に反応し、子供の活動を制限するような大人にであいます。どうかありませんか
- ・安全に、安心して暮らす権利が守られていないように感じる。和光市は交通量が非常に多い。自転車が車道ではなく歩道を走るのはやむを得ない場合もあると思うが、歩行者が危険な目に遭う機会は少なくない。実際に3年間登校しているが、邪魔にならないように一列で歩道を歩いても速いスピードで歩行者優先を守らずに走行している自転車に何度も遭ってきた。車道を走るように立て看板が設置されているのは知っているが、実際に効果はあまりないように感じられる。事故が起きてからでは遅いので早急に対策をしていただきたい。
- ・現実そんなにやわじやないのでは誰も手を差し伸べません、特に自己表現ができるような人ならいいと思いますがそのような人は権利が守られてきた人で権利がない人は発言する勇気もやる気もないです。子供の権利を守りたいというのにその気概が感じられないので驚いています。特にほとんどの場合は何もできないので、綺麗事で片付かないことを願います。
- ・子供の権利を守ることは重要なことだと思います。だからこそ、自由や権利を履き違えないように、子供を正しい方向へ導けるような環境づくりを目指してほしいと考えます。
- ・子供自身に自分の人生を決めさせるのはとてもいいことですか、難しいことは子供自身も一人だけで決めるのはとても大変でつらいときもあるので、そういうときも適度にサポートしてあげられたらいいと思います。
- ・自分は、挑戦して失敗して責められたりバカにしたりされることはないけれど、それでも実際に何か挑戦しようとする人は周りにはあまりいないという印象があります。子どもが主体となって、挑戦したいという気持ちを否定せず子どもの意思で挑戦し、将来を拓いていく、そんな市になったら嬉しいと思います。
- ・障がいを持っている子どもや医療ケアが必要な子どもたちが教育を受けることができるように支援を行う旨を検討していただきたいです
- ・大人が子供のことに介入する範囲を狭めて欲しい。自分で決められることに対して大人の意見が正しいと自分の意志を諦めなければいけないことが多々あるため。

- ・大人による圧をいまだに感じる事が多々あります。電車の中でも、街中でも、「大人は常に子供の上に立つもの」という認識がある様に感じます。
- ・様々な問題が起きている中、把握しているものはごく一部だと思います、もっと子供に寄り添って話を聞いて行って欲しいです。

※こどもの権利の必要性や大人への周知等に関する意見 21件

いじめをなくしたい等いじめに関する意見 1件

困ったときの相談先等に関する意見 17件

遊び、休息等に関する意見 11件

上記以外の様々な意見も含め、合計 82 件の自由意見をいただきました。

3. 調査結果②（各調査別クロス集計）

（1）Q4. あなたの周りのおとなは、あなたの気持ちや意見を聞いてくれますか？

①周りのおとなは気持ちや意見を聞いてくれるか（合計）/自分は周りの気持ちや意見を聞いているか（合計） ※以下のとおり集計

聞いてくれる、どちらかと言えば聞いてくれる …意見を聞いてくれる（合計）
 聞いてくれない、どちらかと言えば聞いてくれない …意見を聞いてくれない（合計）
 聞いている、どちらかと言えば聞いている …意見を聞いている（合計）
 聞いていない、どちらかと言えば聞いていない …意見を聞いていない（合計）

【小学校低学年 n = 1, 724】

	意見を聞いてくれる（合計）	意見を聞いてくれない（合計）	横計
意見を聞いている（合計）	91.1%	4.1%	95.2%
意見を聞いていない（合計）	3.3%	1.5%	4.8%
縦計	94.4%	5.6%	100.0%

【小学校高学年 n = 1, 743】

	意見を聞いてくれる（合計）	意見を聞いてくれない（合計）	横計
意見を聞いている（合計）	91.8%	4.7%	96.5%
意見を聞いてくれない（合計）	2.9%	0.6%	3.5%
縦計	94.7%	5.3%	100.0%

【中学生 n = 1, 405】

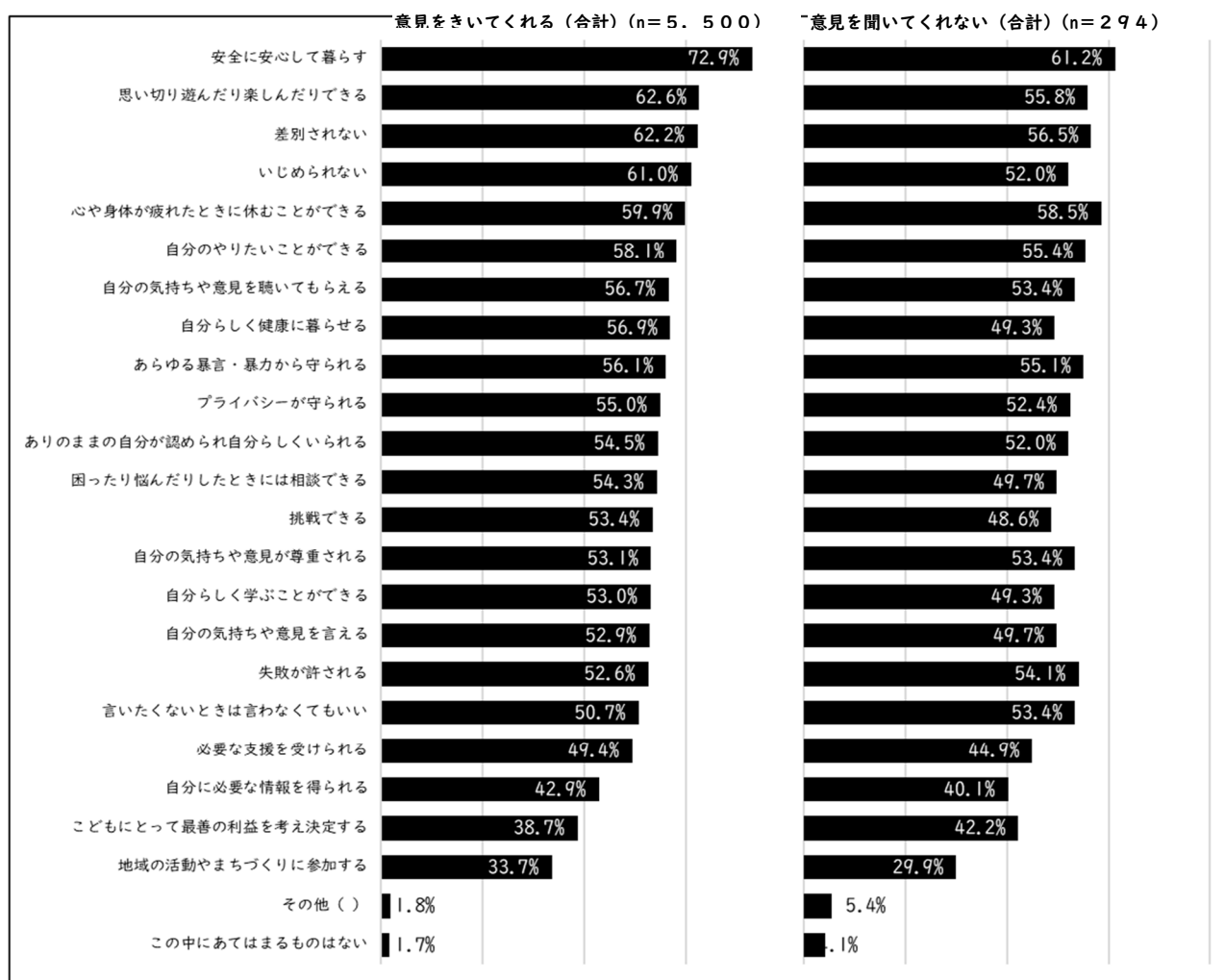
	意見を聞いてくれる（合計）	意見を聞いてくれない（合計）	横計
意見を聞いている（合計）	94.2%	3.1%	97.2%
意見を聞いていない（合計）	2.1%	0.7%	2.8%
縦計	96.2%	3.8%	100.0%

【高校生相当 n = 874】

	意見を聞いてくれる（合計）	意見を聞いてくれない（合計）	横計
意見を聞いている（合計）	93.4%	4.1%	97.5%
意見を聞いていない（合計）	1.5%	1.0%	2.5%
縦計	94.9%	5.1%	100.0%

いずれの調査においても、意見・話を聞いていない（合計）・聞いてくれない（合計）の割合が期待値に対して高い割合で示されている。

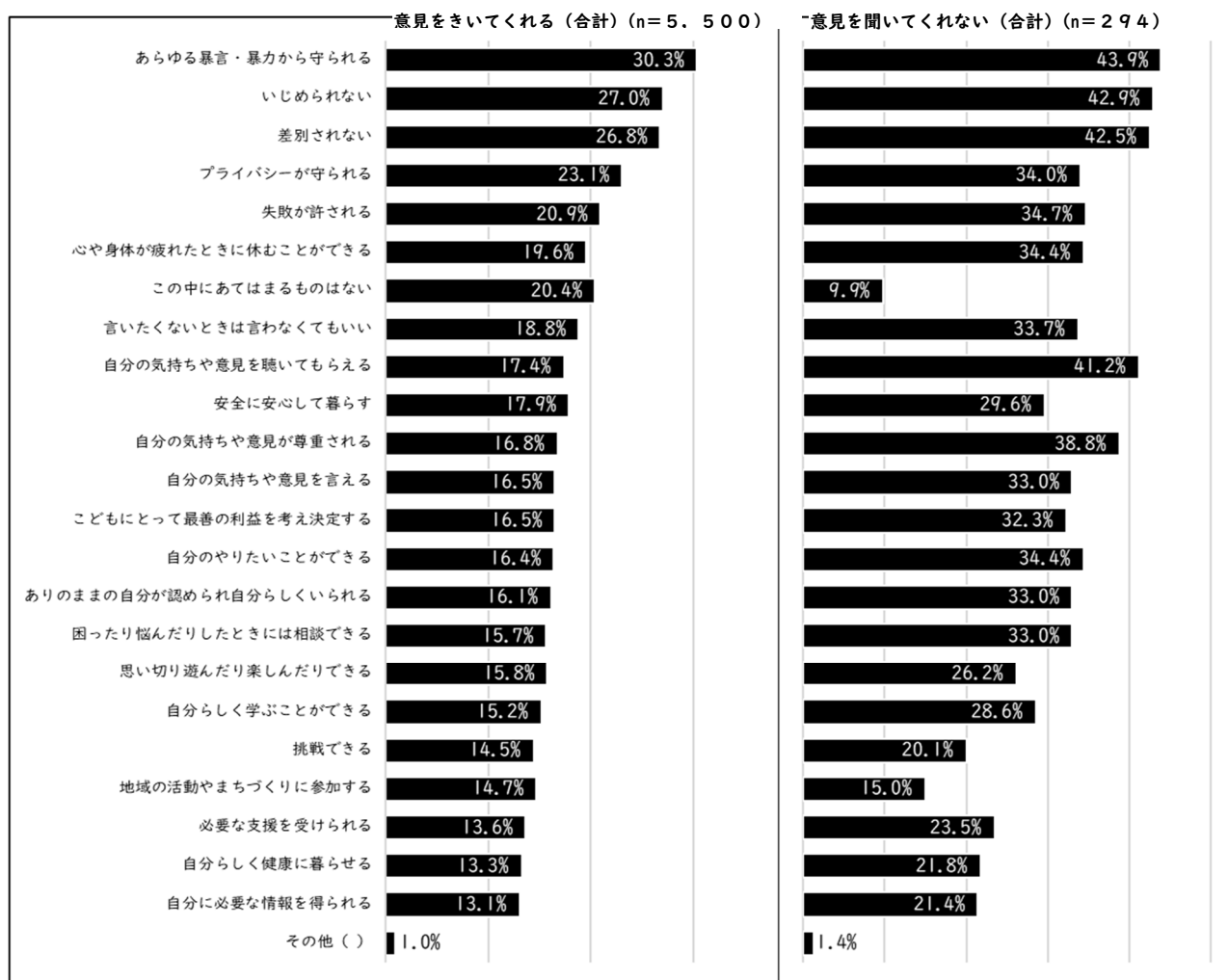
②周りのおとなは気持ちや意見を聞いてくれるか（合計）/大切にしたいこどもの権利



いずれの調査においても、「意見を聞いてくれる（合計）」と回答したもののほうが、「意見を聞いてくれない（合計）」と回答したものと比較して、より多くの項目について大切にしたいこどもの権利と認識している傾向があった。

大切にしたいこども権利については、「安全に安心して暮らす」11.7%、「いじめられない」9.0%、「自分らしく健康に暮らす」7.6%の順で「意見を聞いてくれる（合計）」と回答したものと「意見を聞いてくれない（合計）」と回答したものの回答割合の差が大きかった。

③周りのおとなは気持ちや意見を聞いてくれるか（合計）/守られていないこどもの権利



いずれの調査においても、「意見を聞いてくれない（合計）」と回答したもののほうが、「意見を聞いてくれる（合計）」と回答したものと比較して、より多くの項目について守られていないこどもの権利と認識している傾向があった。

守られていないこども権利については、「自分の気持ちや意見を聞いてもらえる」23.8%、「自分の気持ちや意見が尊重される」22.0%、「自分のやりたいことができる」3.8%の順で「自分のことが嫌い（合計）」と回答したものと「自分のことが好き（合計）」と回答したものの回答割合の差が大きかった。

(2) Q6. あなたは、自分のことは好きですか。

①自分のことは好きか（合計）/性別 ※以下のとおり集計

好き、まあまあ好き

…自分のことが好き（合計）

嫌い、あまり好きではない

…自分のことが嫌い（合計）

【小学校低学年 n = 1, 534】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
男子	42.0%	8.1%	50.2%
女子	42.5%	7.3%	49.8%
縦計	84.6%	15.4%	100.0%

【小学校高学年 n = 1, 521】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
男子	39.1%	12.6%	51.7%
女子	33.9%	14.4%	48.3%
縦計	73.0%	27.0%	100.0%

【中学生 n = 1, 371】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
男子	37.9%	13.4%	51.3%
女子	32.2%	16.6%	48.7%
縦計	70.0%	30.0%	100.0%

【高校生相当 n = 859】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
男子	26.2%	9.8%	36.0%
女子	44.8%	19.2%	64.0%
縦計	71.0%	29.0%	100.0%

小学校高学年調査及び中学生調査において、自分のことが嫌い（合計）と回答するものの割合が、男子と比較して女子が有意に高い傾向があった。小学校低学年調査及び高校生相当調査においては、上記の傾向は見られなかった。

②自分のことは好きか（合計）/周りは気持ちや意見を聞いてくれるか（合計） ※以下のとおり集計

聞いてくれる、どちらかと言えば聞いてくれる …意見を聞いてくれる（合計）
 聞いてくれない、どちらかと言えば聞いてくれない …意見を聞いてくれない（合計）
 好き、まあまあ好き …自分のことが好き（合計）
 嫌い、あまり好きではない …自分のことが嫌い（合計）

【小学校低学年 n = 1, 619】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
意見を聞いてくれる（合計）	80.3%	14.0%	94.3%
意見を聞いてくれない（合計）	3.5%	2.3%	5.7%
縦計	83.8%	16.2%	100.0%

【小学校高学年 n = 1, 552】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
意見を聞いてくれる（合計）	70.4%	24.1%	94.5%
意見を聞いてくれない（合計）	2.0%	3.5%	5.5%
縦計	72.4%	27.6%	100.0%

【中学生 n = 1, 385】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
意見を聞いてくれる（合計）	68.5%	27.6%	96.1%
意見を聞いてくれない（合計）	1.5%	2.4%	3.9%
縦計	70.0%	30.0%	100.0%

【高校生相当 n = 872】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
意見を聞いてくれる（合計）	68.9%	26.0%	95.0%
意見を聞いてくれない（合計）	2.2%	2.9%	5.0%
縦計	71.1%	28.9%	100.0%

いずれの調査においても、自分のことが嫌い（合計）・聞いてくれない（合計）の割合が期待値※に対して高い割合で示されており、特に小学校低学年・高学年においてその傾向が顕著である。

③自分のことは好きか（合計）/和光市は好きか（合計） ※以下のとおり集計

（和光市が）好き、まあまあ好き	…和光市のことが好き（合計）
（和光市が）嫌い、あまり好きではない	…和光市のことが嫌い（合計）
（自分が）好き、まあまあ好き	…自分のことが好き（合計）
（自分が）嫌い、あまり好きではない	…自分のことが嫌い（合計）

【小学校低学年 n = 1, 627】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
和光市が好き（合計）	81.6%	14.0%	95.5%
和光市が嫌い（合計）	2.3%	2.2%	4.5%
縦計	83.8%	16.2%	100.0%

【小学校高学年 n = 1, 553】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
和光市が好き（合計）	68.7%	23.6%	92.3%
和光市が嫌い（合計）	3.8%	3.9%	7.7%
縦計	72.5%	27.5%	100.0%

【中学生 n = 1, 387】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
和光市が好き（合計）	65.8%	25.9%	91.7%
和光市が嫌い（合計）	4.2%	4.1%	8.3%
縦計	70.0%	30.0%	100.0%

【高校生相当 n = 872】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
和光市が好き（合計）	67.3%	24.9%	92.2%
和光市が嫌い（合計）	4.0%	3.8%	7.8%
縦計	71.3%	28.7%	100.0%

いずれの調査においても、自分のことが嫌い（合計）・和光市が嫌い（合計）の割合が期待値※に対して高い割合で示されており、年齢が下がるほどその傾向が顕著である。

④自分のことは好きか（合計）/こどもの権利について知っているか（合計） ※以下のとおり集計

学んだことがある、言葉は知っている	…こどもの権利を知っている（合計）
知らない	…こどもの権利を知らない（合計）
好き、まあまあ好き	…自分のことが好き（合計）
嫌い、あまり好きではない	…自分のことが嫌い（合計）

【小学校低学年 n = 1, 623】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
こどもの権利を知っている（合計）	65.3%	13.2%	78.6%
こどもの権利を知らない（合計）	18.7%	2.8%	21.4%
縦計	84.0%	16.0%	100.0%

【小学校高学年 n = 1, 558】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
こどもの権利を知っている（合計）	41.3%	17.1%	58.4%
こどもの権利を知らない（合計）	31.1%	10.5%	41.6%
縦計	72.5%	27.5%	100.0%

【中学生 n = 1, 390】

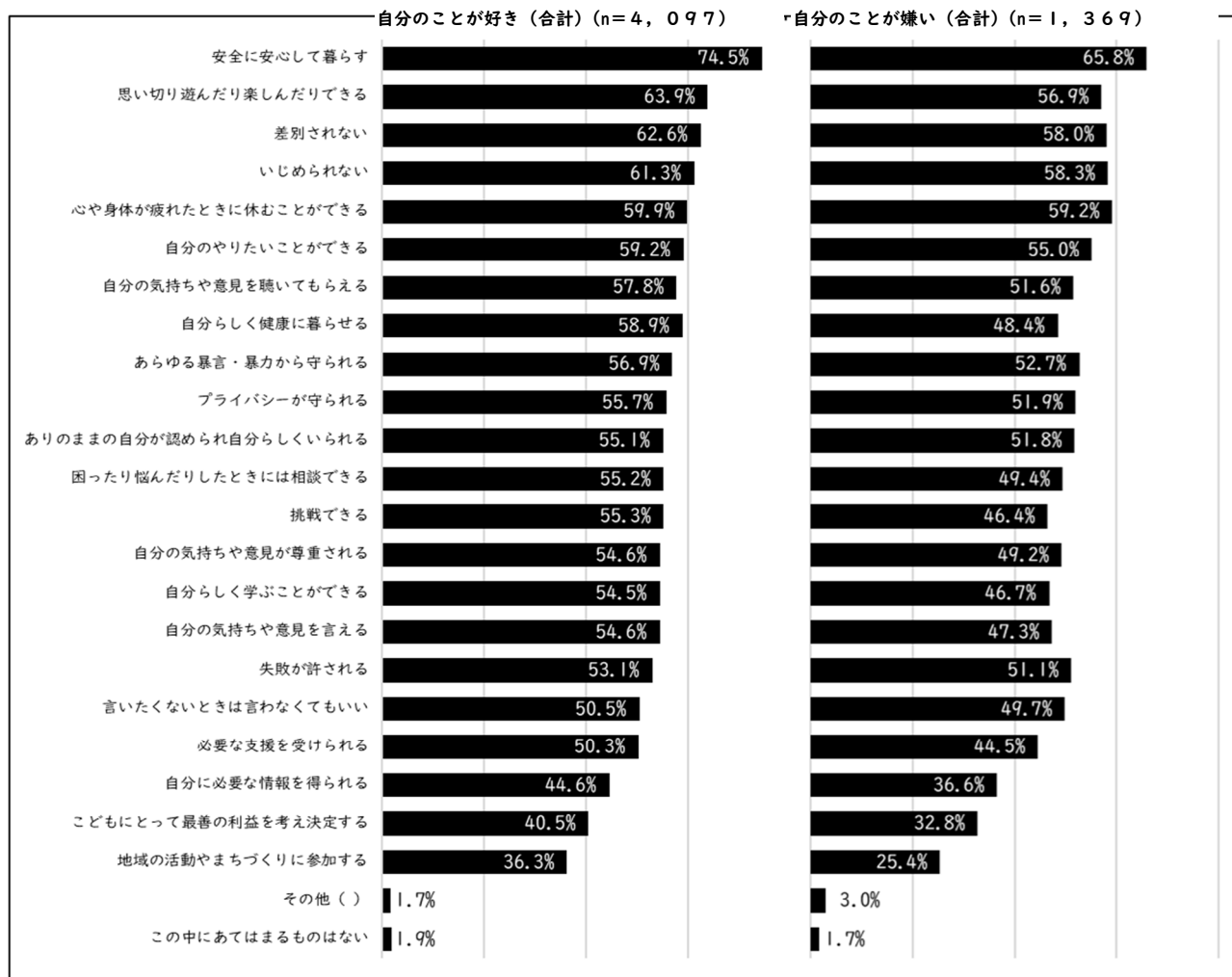
	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
こどもの権利を知っている（合計）	30.0%	16.2%	46.2%
こどもの権利を知らない（合計）	39.7%	14.1%	53.8%
縦計	69.7%	30.3%	100.0%

【高校生相当 n = 875】

	自分のことが好き（合計）	自分のことが嫌い（合計）	横計
こどもの権利を知っている（合計）	39.0%	17.3%	56.2%
こどもの権利を知らない（合計）	32.1%	11.7%	43.8%
縦計	71.1%	28.9%	100.0%

いずれの調査においても、自分のこと好きかどうかと、こどもの権利を知っているかどうかについて有意な相関は見られなかった。

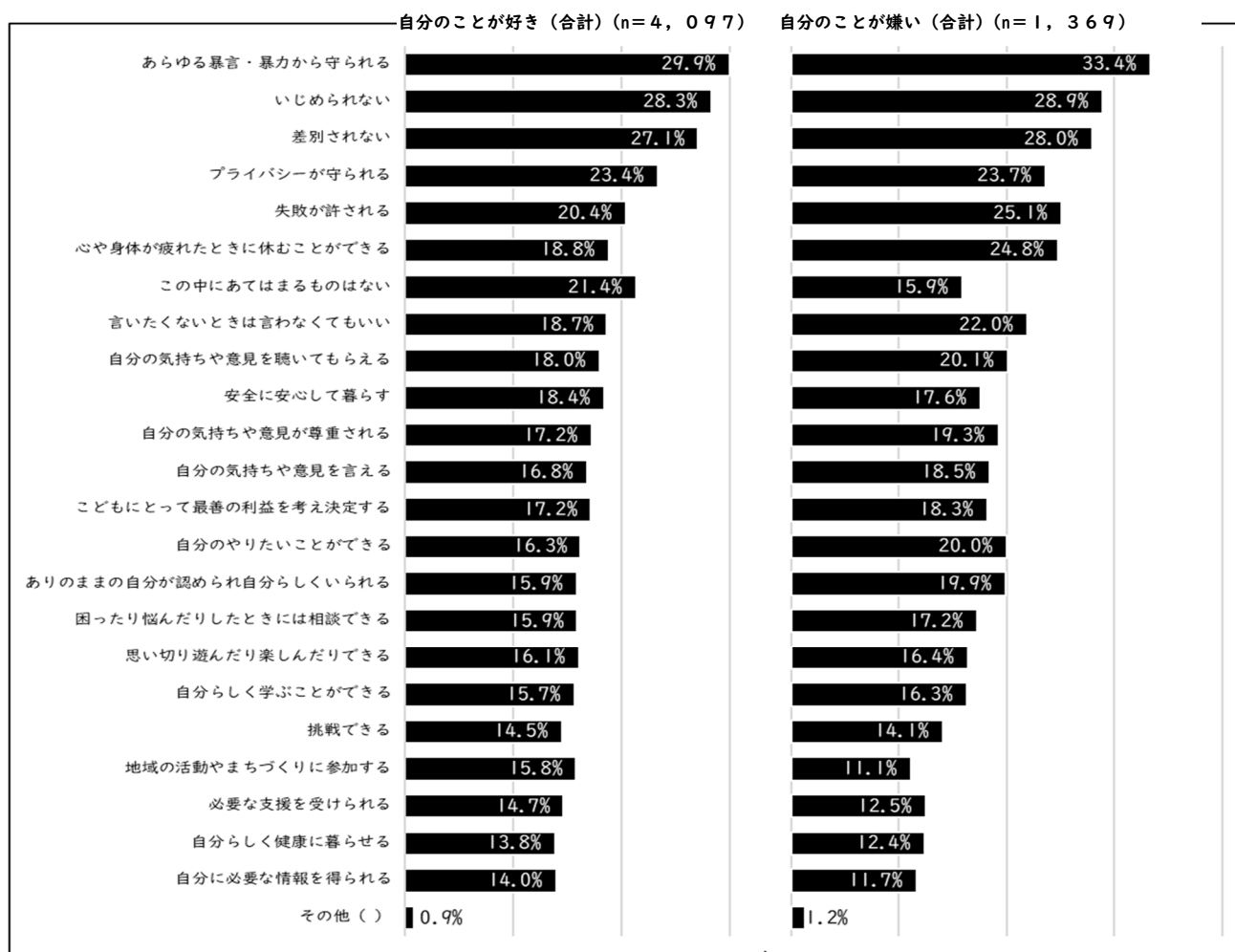
⑤自分のことは好きか（合計）/大切にしたいこどもの権利



いずれの調査においても、「自分のことが好き（合計）」と回答したもののほうが、「自分のことが嫌い（合計）」と回答したものと比較して、より多くの項目について大切にしたいこどもの権利と認識している傾向があった。

大切にしたいこども権利については、「地域の活動やまちづくりに参加する」10.9%、「自分らしく健康に暮らせる」10.5%、「挑戦できる」8.9%の順で「自分のことが好き（合計）」と回答したものと「自分のことが嫌い（合計）」と回答したものの回答割合の差が大きかった。

⑥自分のことは好きか（合計）/守られていないと思うこどもの権利



いずれの調査においても、「自分のことが嫌い（合計）」と回答したもののほうが、「自分のことが好き（合計）」と回答したものと比較して、より多くの項目について守られていないこどもの権利と認識している傾向があった。

守られていないこども権利については、「心や体が疲れた時に休んだりできる」6.0%、「失敗が許される」4.7%、「自分のやりたいことができる」3.8%の順で「自分のことが嫌い（合計）」と回答したものと「自分のことが好き（合計）」と回答したものの回答割合の差が大きかった。